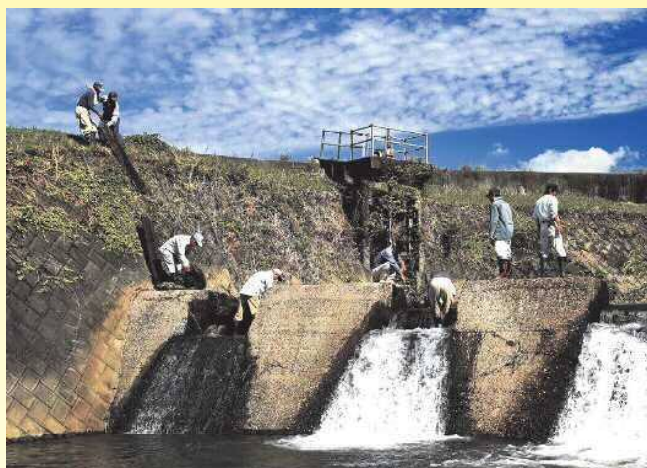
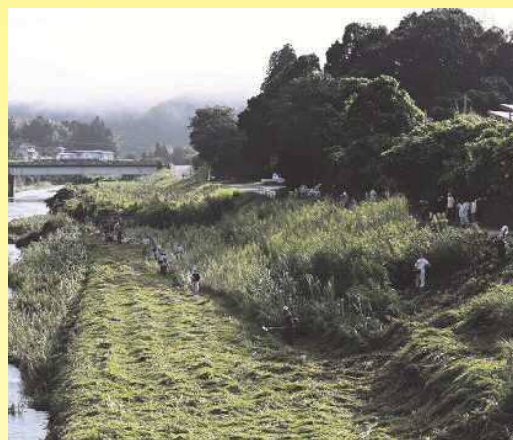


# かごしまの農業2022



令和4年3月  
鹿児島県農政部

# 目次

## I 主要施策の概要

★ 新型コロナウイルス感染症への対応 … 1	4 農地利用, 基盤整備等 …………… 7
1 生産振興, 販売・流通等 …………… 3	5 生産性向上 …………… 8
2 安全で安心な農畜産物の安定供給 … 4	6 農村振興 …………… 10
3 担い手確保・育成 …………… 6	7 農業災害防止等 …………… 11
	8 食育及び地産地消 …………… 12

## II 本県の地理

1 位置 …………… 13	13
2 地勢 …………… 13	13
3 気象 …………… 13	13

## III 農業の概要 1

1 概要 …………… 14	3 農用地 …………… 22
(1) 全国における本県農業の地位	(1) 耕地面積
(2) 農業産出額	(2) 農家戸数と1経営体当たり経営耕地面積
(3) 品目別の生産状況	(3) 耕地利用率
(4) 生産農業所得	(4) 荒廃農地
(5) 県内経済における農業の地位	(5) 農地流動化
2 農業者 …………… 18	(6) 農業農村整備
(1) 個人経営体数	4 流通・販売 …………… 25
(2) 基幹的農業従事者	(1) 農畜産物の輸出
(3) 担い手	(2) 6次産業化の市場規模
(4) 新規就農者	(3) 食品製造業の出荷額
(5) 企業等の農業参入	(4) かごしまの農林水産物認証制度 (K-GAP)
(6) 女性農業者	5 農業災害 …………… 27
	(1) 農業保険 (農業共済, 収入保険)
	(2) 鳥獣被害額

## III 農業の概要 2

6 作物別の生産振興対策	(7) 茶 …………… 34
(1) 米 …………… 28	(8) 葉たばこ …………… 35
(2) さつまいも …………… 29	(9) 肉用牛 …………… 36
(3) 野菜 …………… 30	(10) 乳用牛 …………… 37
(4) 果樹 …………… 31	(11) 豚 …………… 38
(5) 花き …………… 32	(12) 採卵鶏 …………… 39
(6) さとうきび …………… 33	(13) 肉用鶏 …………… 40

## IV 作物カレンダー

作物カレンダー……………	41
--------------	----

## V 農政の推進体制

1 農政部予算 ……………	44
2 農政部機構図 ……………	45

主要施策の概要

本県の地理

農業の概要

作物カレンダー

農政の推進体制

# I 主要施策の概要

## ★新型コロナウイルス感染症への対応

都市部を中心に新型コロナウイルスの感染者が急増した令和2年3月以降、消費者の外出控えによる外食需要の低下や、各種イベントの自粛などにより、牛肉、花き、茶、養殖ブリをはじめとする農林水産物の需要や価格が低下するなどの影響が見られたことから、県では以下の取組を実施。

### 〈経営支援対策〉

各地域振興局・支庁に窓口を設置し、経営計画の見直しや資金繰りなどの経営相談や、国の経営継続補助金、高収益作物次期作支援交付金の申請支援を実施。

### 〈需要喚起対策〉

収入減などの影響を受けた花き、ジビエなどの需要喚起や、インフルエンサーによる産地ツアー動画配信等による県産農畜産物の魅力発信、対面販売の機会が減少した6次産業化事業者に対する新たな販売方法の支援等の取組を実施。



駅・空港や商業施設等における花きの展示



グランピング施設等や、飲食店におけるジビエフェアの開催



鹿児島空港における6次化じはんきの設置

### 〈労働力確保対策〉

代替人材の確保に向けた農業法人等の相談対応や農業インターンシップを通じた就農・就業を目指す人材の確保、労働力不足の解消に向けたスマート農業の実証などを実施。

## 〈ポストコロナを前提とした急激な社会変革に対応した新たなかごしま農業を構築する先進的な取組支援〉

### 〈取組例〉

- ・急須を用いず、高品質で誰でも手軽においしく飲めるフリーズドライ緑茶の商品化
- ・春野菜を東北地方でPRする「鹿児島フェア」の開催
- ・農業と福祉関係者が参画した「大隅半島ノウフクコンソーシアム」による農福連携の推進
- ・鹿児島県産生乳を活用した乳製品の製造拡大



フリーズドライ緑茶



東北における「鹿児島フェア」



ノウフクコンソーシアムの設立



県産生乳を活用した新たな乳製品

## 1 生産振興，販売・流通等

### 〈かごしまブランドの確立等〉

かごしまの強みをしっかり生かせる農畜産物を「かごしまブランド産品」として指定し、これらの産地づくりと販売促進活動を展開しています。

なお、一定の基準を満たした生産団体等を「かごしまブランド団体」として認定しています。

令和4年1月末現在、167団体が、「かごしまブランド団体」に認定されています。

「かごしまブランド産品」を中心に、大消費地の量販店等でのPRや知事トップセールスの実施、鹿児島黒牛・かごしま黒豚販売指定店、かごしま茶販売協力店の拡大など、県内外での販売促進活動を展開しています。

また、県内で生産される高品質で希少性はあるが、知名度が低く、十分な評価を受けていないと予想される果物について、適正に評価される販路を開拓するため、生産者等が行う販売促進活動を支援していきます。



かごしまブランドマーク



高級果物専門店でのフェア開催



調理師専門学校での県産食材を使った授業



かごしまの食ウェブサイト  
<https://www.kagoshima-shoku.com/>

かごしまの食ウェブサイトによる県内外への情報発信

### 〈農畜産物の生産振興及び銘柄産地の育成〉

農林水産物・食品のうち、品質等の特性が産地と結びついており、名称が特定できる産品を、知的財産として国が保護する「地理的表示保護制度（GI制度）」を推進しています。

「鹿児島島の壺造り黒酢」「桜島小みかん」「辺塚だいたい」「鹿児島黒牛」「えらぶゆり」に加え、令和4年3月に「種子島安納いも」が新たに登録されました。



### 〈農畜産物の輸出拡大等〉

日本一の生産量を誇る鹿児島和牛やさつまいものほか、お茶やきんかんなど多くの農畜産物が、海外へ輸出されています。



県農林水産物輸出入統一ロゴマーク

国際水準GAPの取得支援など輸出に意欲的な農業者等への支援で生産体制を強化する取組と、県内輸出商社の海外営業活動への支援による県産農産物等の海外への販路開拓や、海外小売店等での鹿児島フェアや輸出商談会の開催等の販売力を強化する取組を行っています。



DON DON DONKIにおける鹿児島フェアの開催（シンガポール）

牛肉は、香港、台湾をはじめとするアジア諸国や米国、EUへの輸出が順調であり、県食肉輸出促進協議会を中心とした、食品展示会や商談会への参加、高級部位（ロース、ヒレ）以外の多様な部位の利用促進を図るためのカット技術の普及、「鹿児島和牛」を取り扱う販売指定店拡大の取組への支援とともに、「鹿児島和牛」ならではの魅力が詰まったストーリー仕立てを行い、WEB等によるPRの強化に取り組んでまいります。



輸出相手国での食品展示会への参加



県食肉輸出促進協議会統一ロゴマーク「鹿児島和牛」(左)、「かごしま黒豚」(右)



「鹿児島和牛」GIマーク



カットの技術の普及

## 民間事業者との連携

### 〈株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH）との連携による輸出拡大〉

令和2年10月12日、県はPPIHと県産品の海外販路拡大を目的とした連携協定を締結しました。

国内で「ドン・キホーテ」を運営している同社は、本県産さつまいもを主力商品として、アジアを中心に日本産の品質にこだわった商品を提供する小売店「DON DON DONKI」を展開し、シンガポールや香港などで急速に事業拡大をしています。

PPIHは県と連携して、商談会や海外での鹿児島フェアを開催し取り扱う県産品を増やすとともに、青果物を混載して志布志港から輸出する取組を行っています。

これらの取組が功を奏して、同社が取り扱う県産農畜水産物の輸出額は連携締結後の1年間で約2.3億円伸び、総額約7.3億円となりました。



PPIH取り扱い県産農畜水産物の輸出額

### 〈6次産業化の推進〉

農林水産物の付加価値創出を通じて、農林漁業者の所得向上や雇用の確保など農山漁村の活性化を図るため、6次産業化を推進しています。

商品開発等に関する専門家の派遣や県内外で開催される商談会への出展、販売機会の提供など、伴走型の支援を展開しています。

また、大隅加工技術研究センターにおいて、リモートによる相談対応や加工技術の指導などを行っています。



専門家による相談対応 商談会への出展支援



リモートによる加工相談 加工技術の指導状況

## 2 安全で安心な農畜産物の安定供給

### 〈食の安全・安心対策〉

安心・安全な県産農林水産物を生産し、消費者からの信頼を確保するため、「かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）」の認証取得の促進や普及・拡大等に取り組むとともに、国際水準GAPの普及を図るため、GAP指導員の育成などに取り組んでいます。



K-GAP PRフェア

また、関係機関と連携しながら、食品表示制度の普及・啓発や食品表示実態調査を通じた小売業者等への指導などを実施し、県民の信頼を確保する食品表示の適正化に取り組んでいます。



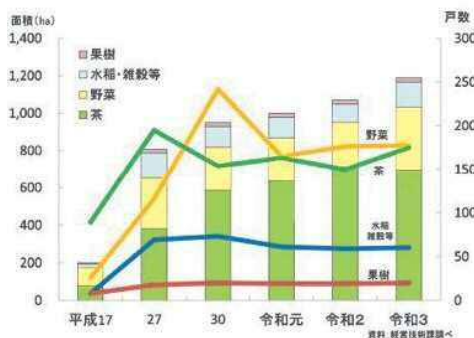
食品表示実態調査の状況

### 〈環境との調和に配慮した産地づくり等〉

農薬取締法に基づき、国に登録された農薬の適正使用、家畜排せつ物等のバイオマス資源を活用した堆肥の利用などを促進するとともに、化学合成された農薬や肥料の使用量の低減に向けた取組を積極的に支援し、環境との調和に配慮した産地づくりを推進しています。



土着天敵昆虫：テントウムシ



有機農業の取組面積及び農家戸数の推移

また、土着天敵昆虫等を利用する生物的防除を中心とした総合的病害虫・雑草管理（IPM）技術の普及を図るとともに、環境保全型農業直接支払制度を活用した有機農業団体等への支援や技術指導など、生産から販売まできめ細やかな支援を行い、有機農業を推進しています。

## 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会への取組

### 1 第12回全共鹿児島大会に向けた出品対策

「種牛の部」では、これまで、関係機関・団体と連携した巡回調査による飼養管理指導や全共を見据えた県集合審査会を実施し、候補牛の掘り起こしに取り組んでいます。

また、「肉牛の部」については、飼料給与マニュアルや超音波肉質診断技術等を活用した定期的な飼養管理指導を実施しているところであり、いずれの部についても8月末に県代表牛を選抜することとしています。

第12回大会は、過去最多となる41の道府県が出品する大会となっており、県としては、生産者をはじめ、関係機関・団体が一丸となって、「チーム鹿児島」の団結のもと、出品対策を強化し、全国一の和牛生産県として、本県大会での「和牛日本一」を目指して、全力で取り組んでいます。



県集合審査会の様子



調教技術向上を目指した研修会



超音波肉質診断の様子

### 2 第12回全共鹿児島大会開催に向けた取組

大会開催に向けては、令和4年1月に策定した「会場設営」、「催事広報」、「交通輸送」などの実施計画をもとに、審査場や仮設牛舎等の会場設営、開閉会式等の準備、シャトルバスの運行や駐車場整備等に取り組んでいます。

また、各種イベント・メディア等を活用した大会PRやホームページ・SNSを活用した情報発信にも取り組んでいます。



大会マスコットキャラクター  
かごうしまマ



「1年前イベント」会場の様子



F Mかごしま「福ラジ」出演



大会ホームページ  
QRコード



カウントダウンボードの設置



懸垂幕の設置

### 3 担い手確保・育成

#### 〈経営改善意欲のある農業者の確保・育成〉

効率的かつ安定的な経営の実現を目指す認定農業者などの担い手を確保・育成するため、農業経営の法人化など、担い手の経営発展につながる各種研修会の開催や専門家派遣による課題解決に向けた取組を推進します。

また、農業の新たな担い手として、企業等の農業参入を促進するとともに、農福連携の推進や外国人材の安定的な受入に向けた環境整備など多様な人材の確保に向けた取組を推進しています。



経営発展に向けた専門家派遣

#### 〈新たに就農しようとする者の確保・育成〉

新規就農者を確保・育成するため、県内外での就農相談や農業インターンシップの実施、農業大学校での教育・研修、就農に向けた研修資金・経営開始資金の交付、就農後の機械・施設等導入の支援など就農準備から経営安定まで総合的に支援します。



次代の農業を担う農業大学校生

#### 〈女性農業者が能力を発揮できる環境整備〉

基幹的農業従事者の約4割を占める女性の活躍を推進するため、女性農業経営士の認定や海外農家体験研修等の実施によるリーダー育成、起業活動の促進など、女性が地域農業の担い手として、能力発揮できる環境づくりを推進します。



女性農業者ビジネスチャレンジ

#### 〈集落営農の育成・活動促進等〉

小規模な農業者や高齢農業者も含めた地域の話し合い活動に基づき、集落営農の目指す農業の姿と具体的な戦略の検討や合意形成を図るためのビジョンづくりや人材の確保、共同利用機械の導入など集落営農の活性化に向けた取組を推進します。



集落営農研修会の開催



## 4 農地利用，基盤整備等

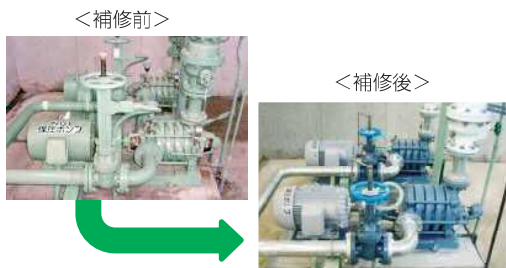
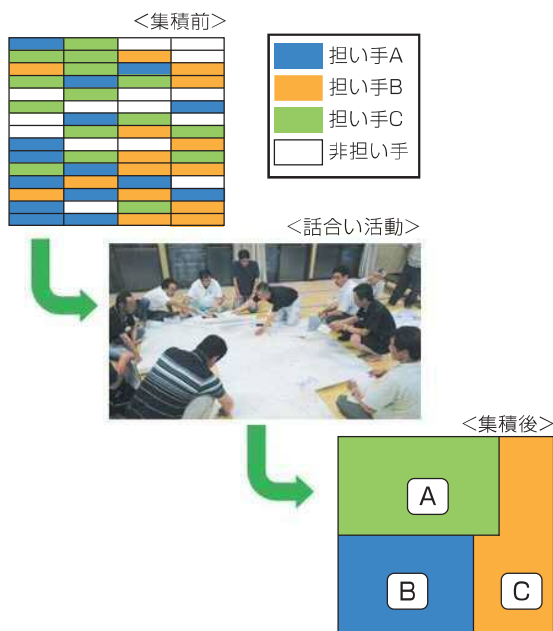
### 〈農地利用〉

農地の効率的な利用を推進し，農業生産力の維持向上を図るため，農地中間管理機構や市町村，農業委員会等と一体となって，農地利用の意向把握や，人・農地プランの話合い活動，基盤整備の取組などと連携した農地中間管理事業の推進による担い手への農地の集積・集約に取り組んでいます。

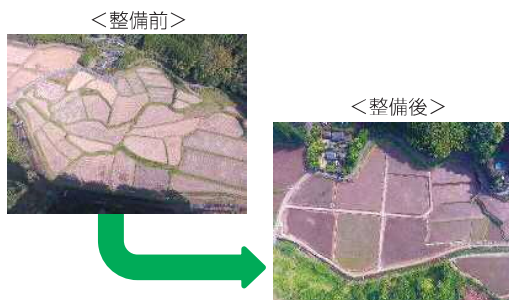
### 〈基盤整備等〉

農業の生産性向上や農地の集積・集約化を図るため，ほ場整備・水田の汎用化，畑地かんがい施設の整備などを推進しています。

これまでに造成された土地改良施設の機能を今後も持続的に発揮させるため，施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るストックマネジメントに取り組んでいます。



老朽化したポンプの補修



ほ場整備による農地集積

## 喜界島農業水利事業所開所式

令和3年度に事業着手した国営かんがい排水事業喜界島地区において，九州農政局喜界島農業水利事業所の開所式が行われました。

今後，島内2基目となる地下ダム建設により，島内全域で農業用水の安定供給による更なる農業生産性の向上や高収益作物への転換が期待されます。



開所式の様子

## 5 生産性向上

### 〈スマート農業の推進〉

「スマート農業」とは、ロボット技術やAI、ICT等を活用して、超省力・高品質生産を可能とする新たな農業のことです。

スマート農業の推進は、本県農業が抱える労働力不足や、農業後継者への技術継承等の課題を解決するためにも有効な施策であることから、「鹿児島県スマート農業推進方針」(H31.3月)に基づき、農業者の理解促進や現地実証活動等を展開しています。

### 「スマート農業普及促進セミナー」を開催

スマート農業に対する農業者の理解を促進するため、4部門(畑作、畜産、水田、施設園芸)で取組事例発表等を行うセミナーを開催しました。

部門	開催時期	開催場所	参加者
畑作	10月28日(木)	鹿児島市	74人
畜産	11月12日(金)	日置市	130人
水田	11月25日(木)	南九州市	66人
施設園芸	12月21日(火)	志布志市	51人



畑作部門でのセミナー

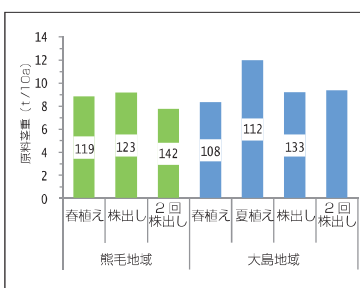
### 〈農業技術の開発等〉

農業開発総合センターでは、新技術及び新たな品種・種畜の開発・普及に取り組んでいます。

さとうきび「はるのおうぎ」は、熊毛及び大島地域の奨励品種で、農研機構等が育成し、県が現地適応性を確認した新品種であり、「農林8号」に比べ原料茎重が重く、風折抵抗性は強、株出し栽培での萌芽性に優れ、原料茎数が多い等の特徴があります。

「はるのおうぎ」の導入によるサトウキビ生産量の底上げや、株出し栽培による新植の調苗や、植付作業の労力削減が期待できます。

肉用牛改良研究所で造成した「梅華福」号は、始良地区で受け継がれてきた「にわうめ」系統から造成した「華春福」号の後継種雄牛で、体伸、前軀、後軀、体幅に優れています。産子の枝肉は、脂肪交雑に優れ、枝張り、ロース芯の大きさ・形状、周囲筋の充実、バラの厚さも良好です。肉用牛の改良等の研究を通じ、和牛日本一に輝く、「鹿児島黒牛」の産地育成にこれからの貢献していきます。



「はるのおうぎ」の原料茎重



「はるのおうぎ」



「梅華福(うめはなふく)号」



産子の枝肉

また、令和4年2月8日には、農研機構との連携協定を締結しており、共同研究の推進や研究成果の普及等に連携して取り組むこととしています。

## サツマイモ基腐病対策の取組

基腐病対策の基本であるほ場に菌を「持ち込まない」「増やさない」「残さない」対策を総合的に推進するために、地域プロジェクトチーム等が中心となって、研修会やリーフレット等により生産者への防除対策の周知や技術指導を行っています。



基腐病対策研修会

また、農業開発総合センターでは、国等との共同研究により、種いもの消毒方法や土壌中の残渣処理などの防除技術の確立に向けた試験に取り組み、これらの成果については、「サツマイモ基腐病防除対策マニュアル」としてとりまとめ、生産者等へ周知しています。



「サツマイモ基腐病防除対策マニュアル」  
掲載先（県庁HP）のQRコード

## 〈動植物の防疫体制〉

本県は、農作物に甚大な被害を与えるミカンコミバエやアリモドキゾウムシなどの病害虫が侵入・発生しやすい地理的条件にあることから、国や関係機関・団体等と連携しながら、定期的なトラップ調査等による侵入防止対策を講じるとともに、ツマジロクサヨトウやサツマイモ基腐病といった、新たな病害虫についても、適切な防除対策に取り組んでいます。



ミカンコミバエ

また、国内において豚熱、高病原性鳥インフルエンザ、近隣諸国においてアフリカ豚熱等の家畜伝染病が続発し、本県においても高病原性鳥インフルエンザが発生したことから、飼養衛生管理基準の遵守の徹底を図るとともに、万一の発生に備え、防疫資材の備蓄や防疫演習を実施するなど、疾病の発生やまん延防止対策の取組を推進しています。



防疫演習

## 6 農村振興

### 〈共生・協働の農村づくり運動〉

「人と自然と地域が支え合うみんなで創る農村社会」を目指して、地域住民の自主的な話し合い活動を基本に、農村集落と大学やNPOなど地域外の多様な主体との連携による「共生・協働の農村づくり運動」を進めています。

令和2年度 共生・協働の農村づくり運動表彰  
知事賞受賞団体

部 門	受 賞 者 名
農村集落部門	早馬集落営農組合（南大隅町）
農村集落部門	手々集落（徳之島町）
功労者部門	内匠 秋夫 氏（南九州市）
功労者部門	中木場 修 氏（薩摩川内市）

### 令和3年度豊かなむらづくり全国表彰事業「農林水産大臣賞」受賞 一ツ木公民会（さつま町）

一ツ木公民会の話し合いにより設立された集落営農法人が地域の農地の8割を集積し、兼業農家や高齢者等の活躍の場づくりや雇用創出、湛水さといもの特産品化に取り組むとともに、伝統行事の継承活動や収穫感謝祭等の交流イベントなど、住民の創意工夫による自主的で持続的なむらづくり活動を展開しています。



集落ぐるみの農業生産活動

### 〈農業農村の有する多面的機能の維持・発揮〉

農業農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域共同で行う多面的機能を支える活動や農地・水路・農道等の地域資源の質的向上を図る活動を支援します。



水路・農道法面の草刈り

### 〈グリーン・ツーリズムの推進〉

本県の豊かな農産物や食、伝統文化、自然などを生かして、農産物直売所等を活用した都市住民との交流、農作業等を体験する修学旅行の受入れなどグリーン・ツーリズムを推進しています。

また、農家民宿等に滞在しながら、農山漁村の魅力を味わってもらう「農泊」をビジネスとして実施できる体制づくりの普及啓発に取り組んでいます。



農泊シンポジウムの開催

## 7 農業災害防止等

### 〈農業災害対策の推進〉

本県では、台風や寒波等により、毎年、農作物やハウス等の農業施設などに被害が発生しています。

災害の発生が懸念される場合は、農業者に事前に対策を周知するなど、被害の発生や拡大を防止しています。

災害が発生した際は、相談窓口を設置するなどして、技術指導や復旧資金に関する相談等の対応を行っています。

また、シラスなどの特殊土壌に覆われているため、台風や豪雨による災害を受けやすい条件下にあります。

このため、農地の侵食や崩壊を未然に防止するための排水路整備など、農村地域の防災・減災対策を行っています。



台風により損壊したハウス

<整備前>



<整備後>



排水路整備による農地の崩壊防止

### 〈活動火山防災営農対策の推進〉

桜島などの活動火山を有する本県では、降灰による農作物被害を防止・軽減し、地域農業の発展を図るため、被覆施設や洗浄施設の整備等を行う農業者団体等を支援しています。

### 〈鳥獣被害防止対策の推進〉

市町村等と連携しながら、「寄せ付けない」、「侵入を防止する」、「個体数を減らす」の3つの取組を柱に、集落ぐるみの被害防止研修会の開催や侵入防止柵の整備、捕獲活動に必要な経費の支援などソフト・ハード両面にわたる総合的かつ一体的な対策を強化しています。

また、捕獲した鳥獣のジビエ利活用拡大に向けた取組を推進しています。



茶の除灰機



被覆施設



侵入防止柵の整備



集落ぐるみの被害防止研修会

## 8 食育及び地産地消

### 〈食育〉

本県ならではの豊かな食文化や農林水産業を生かして、かごしま版食事バランスガイドの普及啓発や、平成27年度に制定した「かごしまの味」をはじめとする郷土料理等の継承推進、農業体験等の取組への支援など、ライフステージに合わせた、県民の健康で豊かな食生活の実現を図っています。

また、子どもたちに対する体験活動を通じた食育を促進するために、食育に携わる指導者を対象に、農作業体験や食事バランスガイドを活用し、実践を中心とした「食と農の指導者研修」を実施しています。

さらに、市町村や民間団体等が行う食育の取組を支援しています。



かごしま版  
食事バランスガイド



かごしまの味



食と農の指導者研修



市町村等での取組支援  
(保育園での農業体験)

### 〈地産地消〉

本県農林水産物を積極的に活用している飲食店・量販店等を登録する「かごしま地産地消推進店」や、地産地消の情報発信役となる「地産地消推進サポーター」への活動支援により、県産農林水産物への理解促進を図っています。

また、各地域の生産者と学校給食等を結びつける話し合いの場づくりや生産組織への支援等により、県産農林水産物の活用を進めています。

さらに、高校生等を対象に、鹿児島島の豊かな食材を活用したメニューコンテストを実施し、ホームページやメディア等で取組を紹介するとともに、県内企業の協力により、入賞作品の一部を商品化するなど、県民への波及に取り組んでいます。



地産地消推進  
ロゴマーク



市町村等での取組支援  
(小学校での農業体験)

〔最優秀賞作品〕



惣菜部門



スイーツ部門



コンビニエンスストアでの  
商品化



最終審査会での  
高校生による調理の様子

## II 本県の地理

### 1 位置

本県は、我が国の西南部、九州の南端に位置し、東西約270km、南北約600kmに広がり、総面積は9,187km<sup>2</sup>です。薩摩、大隅の二大半島からなる県本土と、甑島、種子島、屋久島、トカラ列島、奄美群島など200有余の島々からなっています。

### 2 地勢

本県は、薩摩、大隅の二大半島から主要部分をなし、この二大半島は相対して深く湾入りした鹿児島湾を抱き、海岸の屈曲が多く、加えて200有余の島々からなるため海岸線は2,643kmに及んでいます。

薩摩半島にあつては、紫尾山系が県の北部を東西に走り、大隅半島にあつては、高隈山系が鹿児島湾に沿って、国見山系が太平洋に沿ってそれぞれ南北に走り、これらの山系と霧島火山脈の活動によって生じた火山群を骨格にし、その周辺に火山噴火物であるシラス層の丘陵台地が広がっています。

河川は、県の北部には、源を熊本県白髪山に発し、東シナ海に流入する川内川、鹿児島湾に流入する天降川、南部には東シナ海に注ぐ万之瀬川、大隅方面には志布志（有明）湾に注ぐ菱田川等がありますが、川内川（延長137km）を除けばいずれもそのほとんどが50km未満の短い河川です。

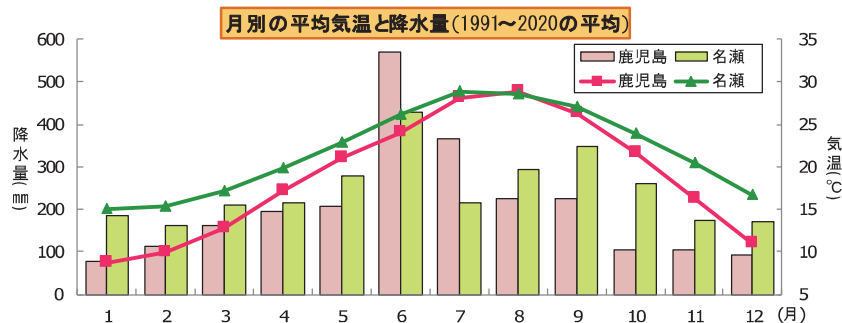
したがって、平野はこれらの河口付近にややまとまって見られるほかは、河川に沿って数珠状に細長く分布しています。

### 3 気象

本県は、温帯気候帯から亜熱帯気候帯まで広範囲に及んでおり、年平均気温は15℃から23℃まで、かなりの温度差があります。

降水量は地域によって相当の差があり、屋久島の山岳地帯では年間10,000mmを記録することも珍しくありませんが、概ね2,000mmから3,000mmの降雨地帯にあり、梅雨期から夏にかけて全降水量の約半分が集中しています。

夏秋期には、毎年のように暴風雨を伴う台風に見舞われ、また、夏期には干ばつ害を受けることもしばしばあります。



地点	年平均気温	年平均降水量	地点	梅雨入り	梅雨明け
鹿児島島	18.8℃	2,435mm	鹿児島島	5月30日ごろ	7月15日ごろ
名瀬	21.8℃	2,936mm	名瀬	5月12日ごろ	6月29日ごろ

資料※気象庁「平年値(統計期間1991~2020年)」

# Ⅲ 農業の概要

## 1 概要

農業は、本県の地域経済を支える基幹産業であり、令和2年における農業産出額は、全国第2位の4,772億円となっています。

特に、全国上位の飼養頭数を誇る豚や肉用牛（黒毛和種）を中心とした畜産は、農業産出額の65%を占めています。また、南北600kmにわたる県土の中で、温暖な気候や全国第2位の広大な畑地などを生かした野菜や花き、茶などの生産も盛んです。

本県では、さらなる農業の発展のために、畑地かんがい農業などの農業生産基盤の整備や各種の生産対策を積極的に推進しています。

### (1) 全国における本県農業の地位

区 分	実 数	全国に占める割合	全国における地位	九州における地位	資 料
農業経営体数	29,717 経営体	2.8 %	12 位	2 位	農林水産省 「2020年農林業センサス」(確定値) (R2.2.1)
個人経営体数	28,276 経営体	2.7 %	12	2	
主業経営体数	8,781 経営体	3.8 %	6	2	
基幹的農業従事者数	37,580 人	2.8 %	16	3	
団体経営体数	1,441 経営体	3.8 %	3	1	
1経営体当たり経営耕地面積	2.4 ha	全国 3.1 ha	14	2	
耕地面積	112,900 ha	2.6 %	12	1	農林水産省 「耕地及び作付面積統計」 (R3.10.26)
田	35,200 ha	1.5 %	28	5	
畑	77,600 ha	3.9 %	2	1	
普通畑	62,100 ha	5.5 %	2	1	
樹園地	12,500 ha	4.7 %	7	2	
牧草地	2,990 ha	0.5 %	10	2	
畑地率	68.8 %	全国 45.6 %	6	1	
農業産出額	4,772 億円	5.3 %	2	1	農林水産省 「生産農業所得統計」 (R3.12.24)
生産農業所得	1,415 億円	4.2 %	4	2	
生産農業所得率	29.7 %	37.5 %	47	7	
食料自給率	78 %	全国 38 %	7	1	農林水産省 (令和元年度概算値)

※「九州における地位」に沖縄県は含まない。



## (2) 農業産出額

令和2年の農業産出額は、4,772億円（全国第2位）で、前年に比べて2.4%増加しています。部門別にみると、耕種が0.6%増加し、畜産が3.3%、加工農産物が22.2%減少しています。

また、部門別の構成比は、耕種32.2%、畜産65.4%、加工農産物1.5%となっています。

部門別農業産出額

区 分	産出額(億円)		構成比(%)		前年比(%)
	R2	R元	R2	R元	R2/R元
合 計	4,772	4,890	100.0	100.0	97.6
耕 種	1,582	1,573	33.2	32.6	100.6
米	208	209	4.4	4.3	99.5
麦 類	x	x	-	-	-
雑 穀・豆 類	2	3	0.0	0.1	66.7
い も 類	305	272	6.4	5.2	112.1
野 菜	562	532	11.8	11.4	105.6
果 実	98	110	2.1	2.2	89.1
花 き	113	121	2.4	2.5	93.4
工 芸 農 作 物	270	299	5.7	6.3	90.3
そ の 他	x	x	-	-	-
畜 産	3,120	3,227	65.4	65.2	96.7
肉 用 牛	1,151	1,278	24.1	26.0	90.1
乳 用 牛	106	107	2.2	2.3	99.1
豚	856	847	17.9	16.6	101.1
鶏	1,005	990	21.1	20.2	101.5
鶏 卵	273	263	5.7	5.4	103.8
ブロイラー	699	695	14.6	14.3	100.6
そ の 他	3	5	0.1	0.1	60.0
加 工 農 産 物	70	90	1.5	2.2	77.8

x: 集計結果をそのまま公表すると、個々の報告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿とした箇所

資料: 生産農業所得統計

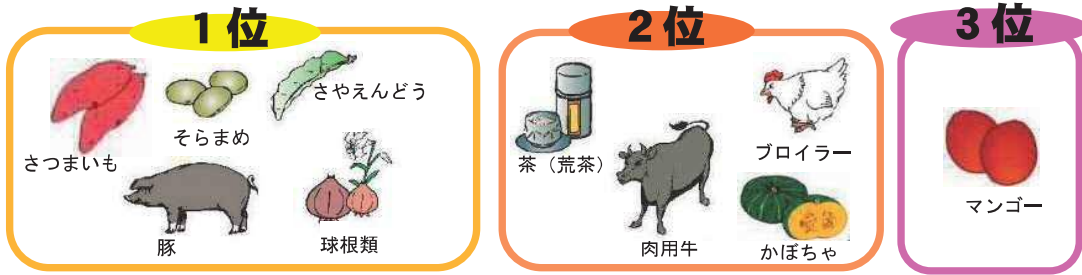
上位 10 品目 (令和2年度)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	肉用牛	豚	ブロイラー	鶏卵	米	ばれいしょ	さつまいも	茶(生葉)	さとうきび	生乳
産出額(億円)	1,151	856	699	273	208	165	140	130	116	89
構成比(%)	24.1	17.9	14.6	5.7	4.4	3.5	2.9	2.7	2.4	1.9

資料: 生産農業所得統計

### (3) 品目別の生産状況

品目別の生産状況は、さつまいも、そらまめ、さやえんどう、球根類、豚などが全国第1位、茶（荒茶）、かぼちゃ、肉用牛、ブロイラーなどが全国第2位、マンゴーなどが全国第3位となっています。



品目	収穫量・ 飼養頭数	全国に占める 割合	全国における 地位	九州における 地位	資料
水稲	88,400 t	1.1 %	27 位	4 位	令和2年産作物統計
さつまいも	214,700 t	34.9 %	1 位	1 位	
さとうきび	522,500 t	39.1 %	2 位	1 位	
茶(荒茶)	23,900 t	34.2 %	2 位	1 位	
葉たばこ	798 t	5.8 %	7 位	4 位	全国たばこ耕作組合中央会 令和2年産
だいこん	86,300 t	6.9 %	4 位	1 位	令和2年産 作物統計
ばれいしょ	85,400 t	3.9 %	2 位	1 位	
さといも	7,560 t	5.4 %	5 位	2 位	
かぼちゃ	7,500 t	4.0 %	2 位	1 位	
ピーマン	11,800 t	8.2 %	4 位	2 位	
さやいんげん	2,370 t	6.1 %	4 位	1 位	
さやえんどう	4,450 t	22.8 %	1 位	1 位	
そらまめ	3,530 t	23.1 %	1 位	1 位	平成30年産地域特産野菜 生産状況調査
オクラ	4,857 t	41.6 %	1 位	1 位	
みかん	10,100 t	1.3 %	16 位	6 位	令和2年産作物統計
びわ	240 t	9.1 %	3 位	2 位	令和2年産作物統計
マンゴー	403 t	11.5 %	3 位	2 位	令和元年産特産果樹 生産動態等調査
切り花類	138,600 千本	4.3 %	6 位	2 位	令和2年産 作物統計
球根類	16,500 千球	22.4 %	1 位	1 位	
肉用牛	351,100 頭	13.5 %	2 位	1 位	令和3年畜産統計
黒毛和種	334,300 頭	18.9 %	1 位	1 位	
乳用牛	13,500 頭	1.0 %	14 位	3 位	
豚	1,234,000 頭	13.3 %	1 位	1 位	
採卵鶏	12,233 千羽	6.7 %	2 位	1 位	
ブロイラー	27,085 千羽	19.4 %	2 位	2 位	

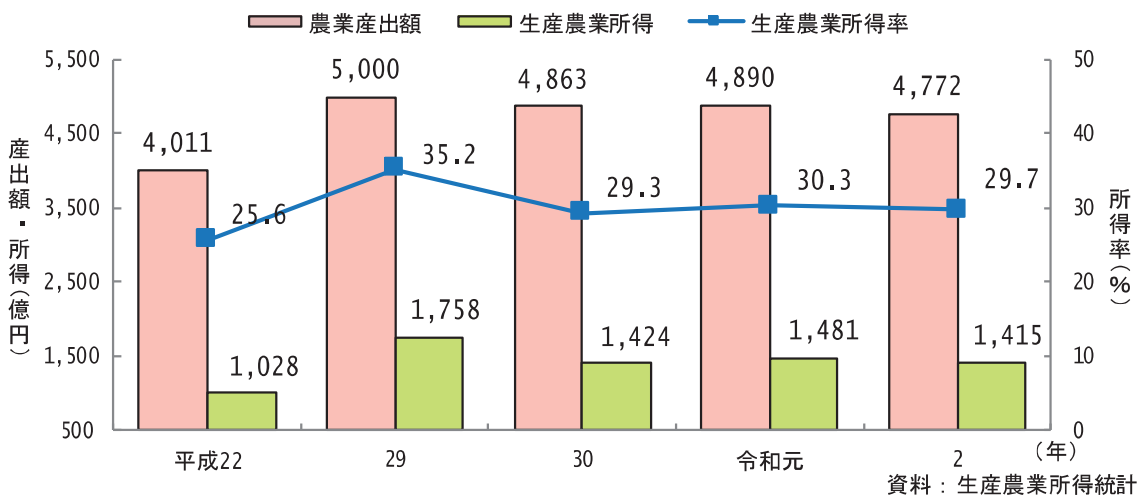
※茶(荒茶)、葉たばこは生産量、花きは出荷量

※「九州における地位」に沖縄県は含まない。

#### (4) 生産農業所得

令和2年の生産農業所得は1,415億円で、前年に比べて4.5%減少しています。また、生産農業所得率は、29.7%で、前年に比べて0.6%減少しています。

農業産出額・生産農業所得・生産農業所得率の推移



#### (5) 県内経済における農業の地位

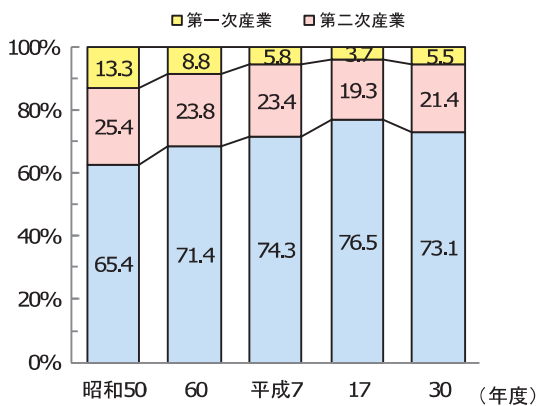
##### ① 県内経済の状況

平成30年度の県内総生産額（名目）は5兆5,487億円となっています。産業別にみると、第一次産業が5.5%、第二次産業が21.4%、第三次産業が73.1%となっています。

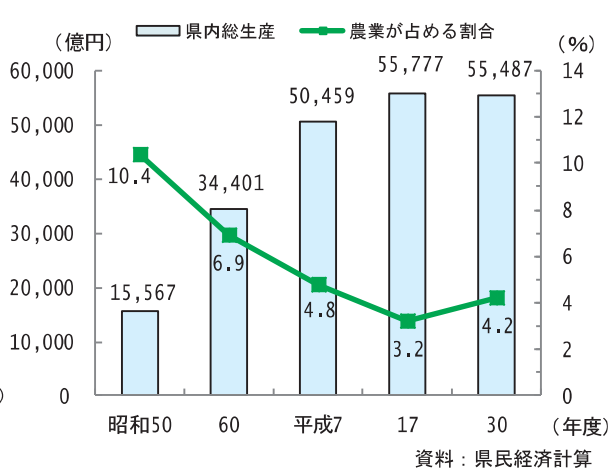
##### ② 県内総生産に占める農業の割合

平成30年度の県内総生産額のうち、農業の生産額は2,337億円で、全体の4.2%を占めています。

県内総生産の構成比の推移



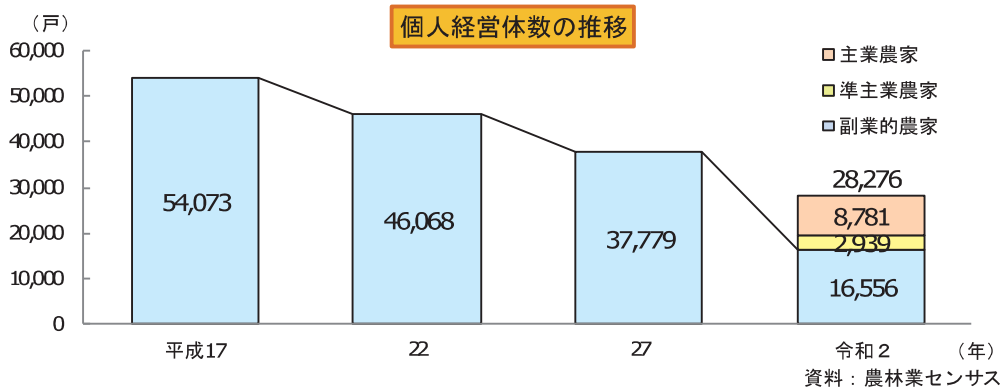
県内総生産に占める農業の割合



## 2 農業者

### (1) 個人経営体数

令和2年の個人経営体数は28,276経営体で、平成27年に比べて25.2%減少しています。個人経営体のうち主業経営体は8,781経営体（31.1%）、準主業経営体は2,939経営体（10.4%）、副業的経営体は16,556戸（58.6%）となっており、全国（22.3%）に比べ主業経営体の割合が高くなっています。

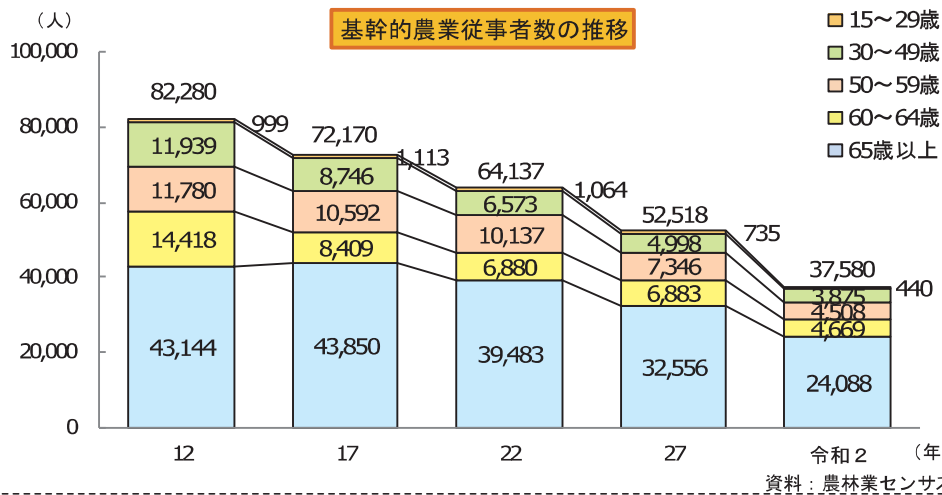


※「個人経営体」とは、農業経営体（経営耕地面積が30a以上又は1年間における農業生産物の総販売額が50万円に相当する事業の規模等を満たす経営体）のうち、一世帯で事業を行っている経営体（法人化している経営体（一戸一法人）を除く。）をいいます。  
 ※「主業経営体」とは、農業所得が主（所得の50%以上が農業所得）で、1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいいます。  
 ※「準主業経営体」とは、農外所得が主（所得の50%未満が農業所得）で、1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体をいいます。  
 ※「副業的経営体」とは、1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体及び準主業経営体以外の個人経営体をいいます。

### (2) 基幹的農業従事者数

基幹的農業従事者は、令和2年2月1日現在、37,580人で、平成27年に比べて28.4%の減少となっています。

このうち、65歳以上の数は24,088人で、全体の64.1%を占めており、60歳以上になると76.5%を占めています。



※「基幹的農業従事者」とは、農業就業人口（自営農業に主として従事した世帯員）のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいいます。  
 ※平成27年までは販売農家の基幹的農業従事者数、令和2年は個人経営体の農業従事者数

### (3) 担い手

担い手（認定農業者（法人を含む。）、認定新規就農者、集落営農経営等の今後の地域農業を担う者）は、11,082（令和2年度）であり、概ね10,000を維持しています。

担い手の確保数の推移

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
担い手	10,826	10,782	11,082
○認定農業者	8,075	7,914	7,846
うち個人	6,883	6,688	6,605
うち法人	1,192	1,226	1,241
○認定新規就農者	625	563	532
○集落営農経営※1	35	33	32
○その他※2	2,091	2,272	2,672

資料：県経営技術課調べ

※1 集落営農経営は①集落営農組織（規約を定め対象作物の共同販売経理を行っている組織）及び②農地利用集積の対象となる特定農業団体をいいます。

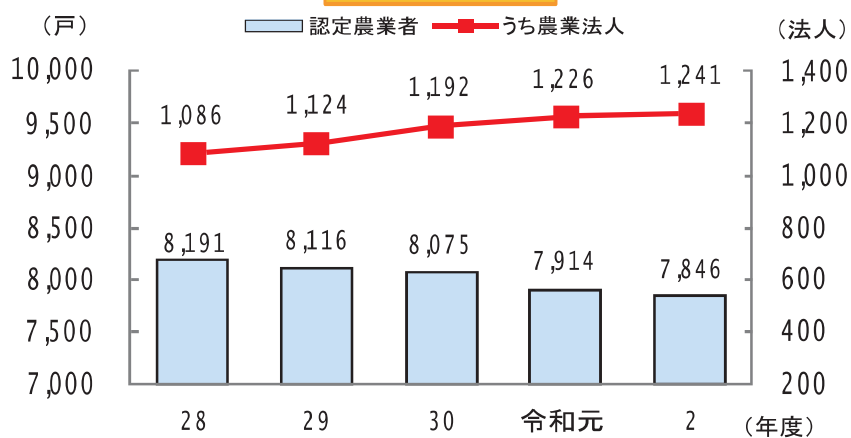
※2 その他は、基本構想水準到達者等をいいます。

#### ① 認定農業者（法人を含む）

個人の認定農業者は高齢化等により減少傾向にありますが、法人である認定農業者は九州では最も多い1,241法人で、平成28年度に比べて14%増加しています。

認定農業者を営農類型別にみると、肉用牛1,636戸（21%）、野菜1,381戸（18%）、茶794戸（10%）（令和3年3月末現在）となっています。

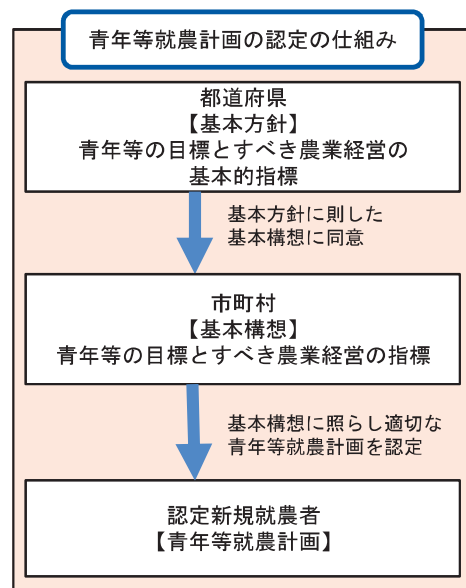
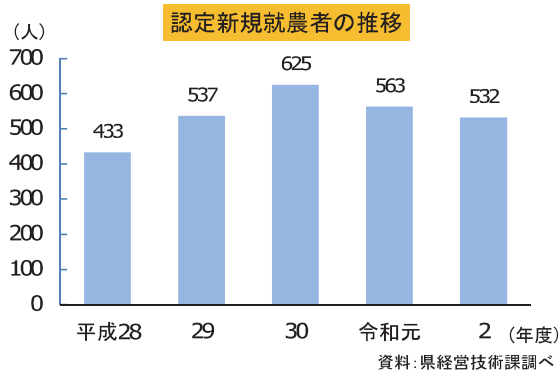
認定農業者の推移



資料：県経営技術課調べ

## ② 認定新規就農者

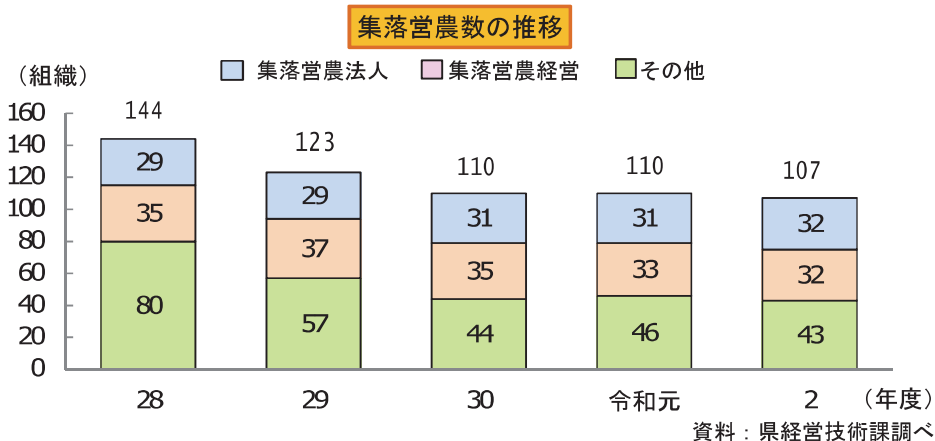
青年等就農計画を市町村が認定し、就農段階から農業経営の改善・発展段階まで、一貫した支援の対象となる認定新規就農者は、令和2年度までに532人となっています。



## ③ 集落営農

地縁的なまとまりを単位として、話し合い活動に基づき、機械・施設の共同利用や農作業受託等の生産活動を行う集落営農は、高齢化等による農作業受託組合の解散などにより、令和2年度は107組織となっています。

また、集落営農の中で規約を定め、共同で生産・販売経営等を行っている集落営農経営が32組織、さらに持続的な営農を可能とするため法人化まで行っている集落営農が32組織（法人）あります。

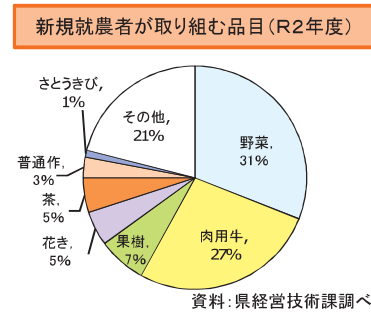
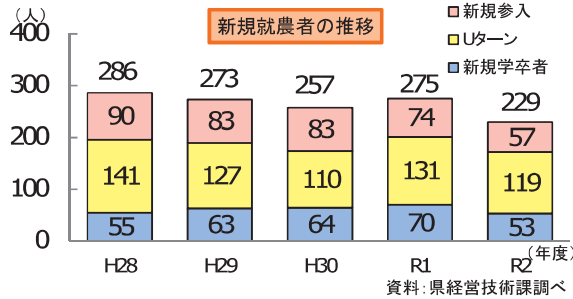


※「集落営農経営」とは、規約や共同販売經理の条件を満たし、農地利用集積の対象となる組織（平成26年度から）であって、本県の担い手として位置づけています。  
 ※集落営農法人数は、法人である認定農業者数に含まれます。

#### (4) 新規就農者

令和2年度の新規就農者は、229人となっています。

作目別では、野菜が最も多く、次いで、肉用牛、果樹の順になっています。



現地就農トレーナーによる新規就農者への助言

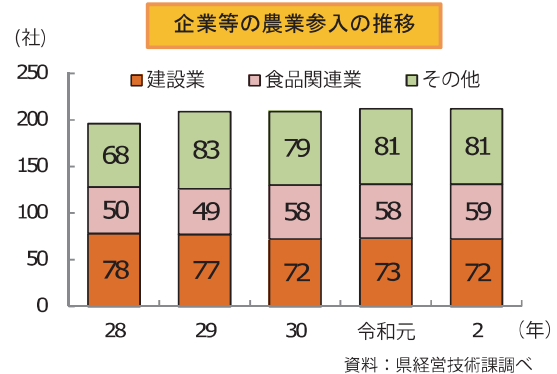


農業インターンシップでの農業体験

#### (5) 企業等の農業参入

農業参入した企業数等は年々増加傾向にあります。令和2年12月末時点では、前年と同様の212社となっています。

業種別には、建設業、食品関連業が多い状況です。



農業の概要

#### (6) 女性農業者

令和3年度の女性農業経営士認定者数は476人となっています。

また、農業委員・農地最適化推進委員に占める女性の割合は11.1%となっています。



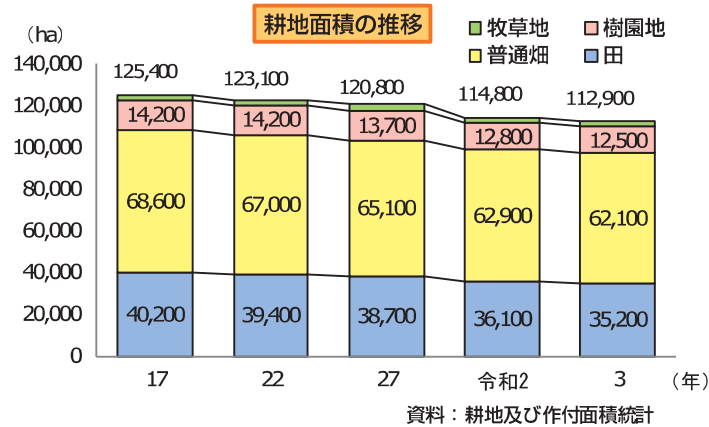
### 3 農用地

#### (1) 耕地面積

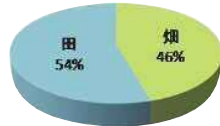
令和3年の耕地面積は112,900haで、うち田は、35,200ha、畑は、77,600haとなっています。

畑地率は、68.8%で、全国の畑地率45.6%に比べて、極めて高くなっています。

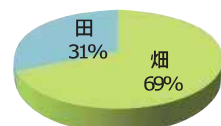
畑は、普通畑62,100ha（畑全体に占める割合80.0%）、樹園地12,500ha（同16.1%）、牧草地2,990ha（同3.9%）です。



全国  
耕地面積  
4,349,000ha



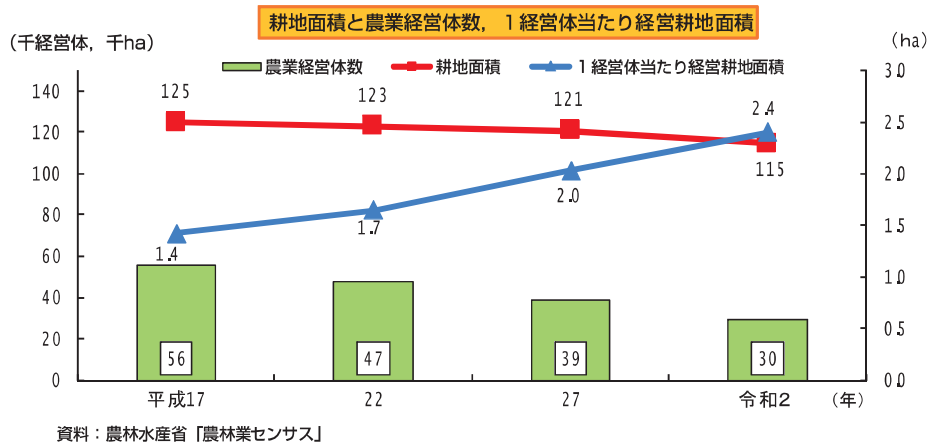
鹿児島  
耕地面積  
112,900ha



資料：耕地及び作付面積統計

#### (2) 農業経営体数と1経営体当たり経営耕地面積

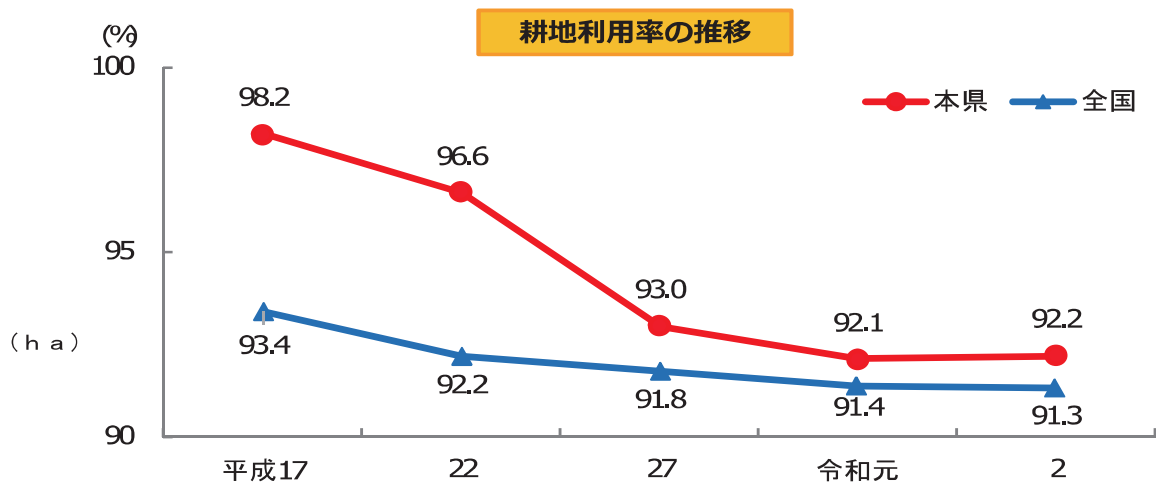
令和2年の農業経営体数は29,717経営体、1経営体当たり経営耕地面積は2.4haとなっており、農業経営体数が減少する一方で、農地集積により、農業経営の規模の拡大が進んでいます。





### (3) 耕地利用率

令和2年の耕地利用率は92.2%であり、全国の耕地利用率91.3%より高くなっています。

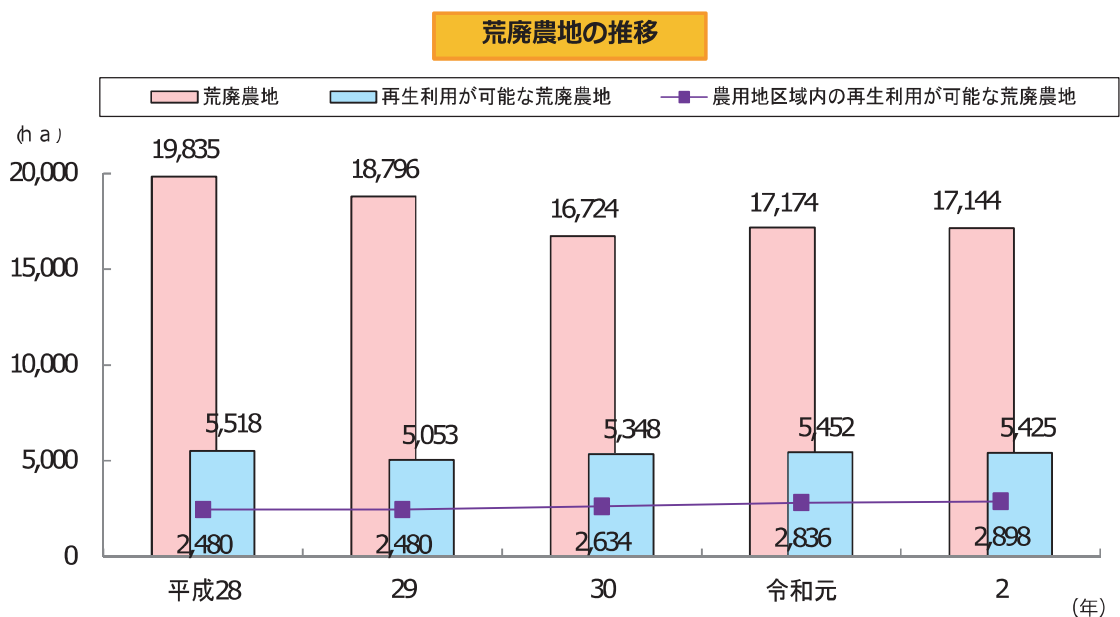


資料：農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率

### (4) 荒廃農地

令和2年の荒廃農地面積は17,144haで、直近5年間では減少傾向にあります。

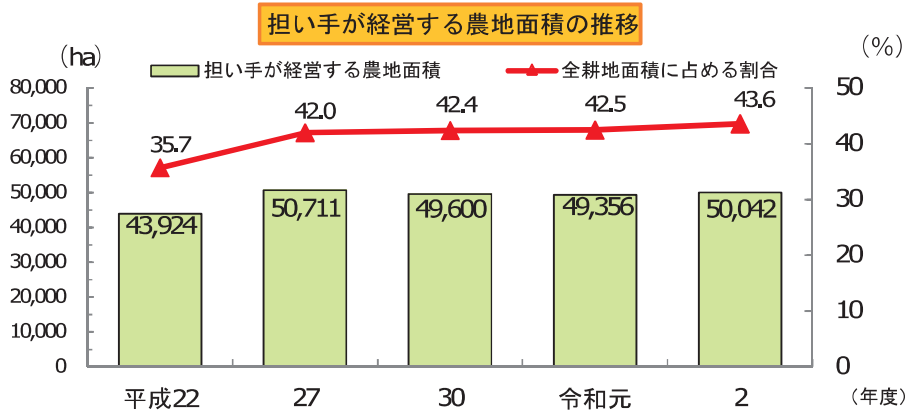
また、再生利用が可能な面積は5,425haで、このうち農業振興地域の農用地区域内の面積は2,898haとなっています。



資料：「荒廃農地の発生・解消状況調査」

### (5) 農地流動化

令和2年度末の担い手が経営する農地面積は、50,042haとなっており、全耕地面積に占める割合は43.6%で、平成22年度から7.9ポイント増加しています。



資料：「担い手及びその農地利用の実態に関する調査」ほか

注：担い手とは、①認定農業者（特定農業法人を含む）、②市町村基本構想の水準到達者、③特定農業団体、④集落営農組織（複数の農業者により構成される農作業受託組織であり、対象作物の生産・販売について共同販売経理を行っている組織）、⑤認定新規就農者（H26～）をいう。

### (6) 農業農村整備

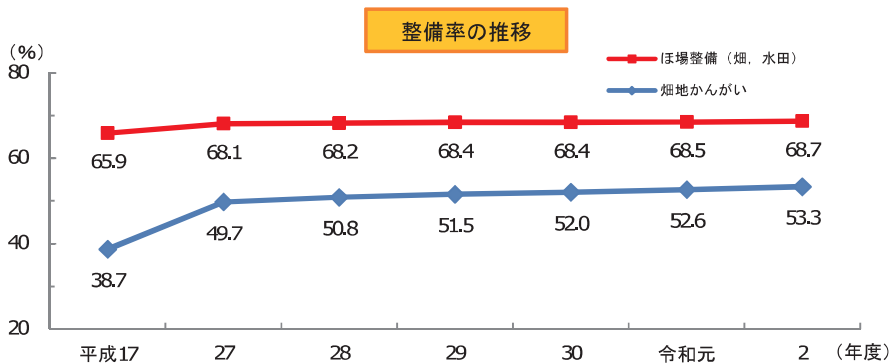
令和2年度末現在の整備率は、水田と畑を合わせた全体のほ場整備率68.7%、畑地かんがいは53.3%となっており、これらの生産基盤の整備を推進しています。

また、豪雨や地震等に対する防災・減災対策をはじめ、農業用施設の長寿命化対策や農村の生活環境の向上対策として、各種事業を積極的に推進しています。

農業農村整備事業の整備状況（令和2年度末現在）

項目	畑地かんがい	ほ場整備	水田		畑
				うち大区画	
整備目標量 (ha)	56,100	103,500	32,700	7,800	70,800
整備済量 (ha)	29,890	71,068	26,329	1,555	44,739
整備率 (%)	53.3	68.7	80.5	19.9	63.2

資料：農業農村整備事業における市町村別整備水準令和2年度調査結果



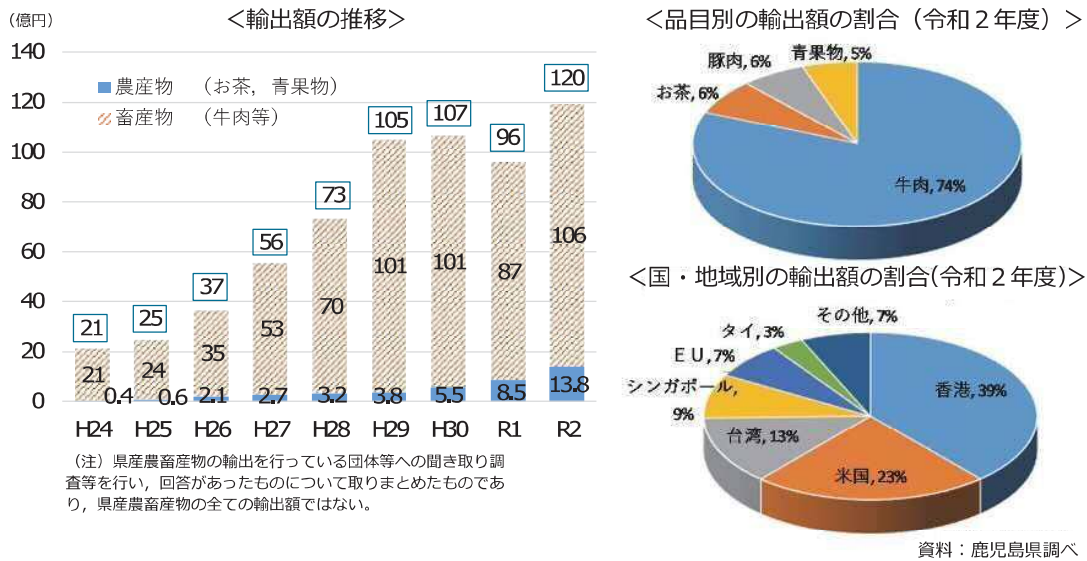
資料：農業農村整備事業における市町村別整備水準令和2年度調査結果

## 4 流通・販売

### (1) 農畜産物の輸出

令和2年度の県産農畜産物の輸出額は約120億円で、その大部分を牛肉が占めており、香港や米国、台湾などに輸出されているほか、お茶はEUなどに、また、さつまいもやきんかんなどの青果物は香港や台湾、シンガポールなどに輸出されています。

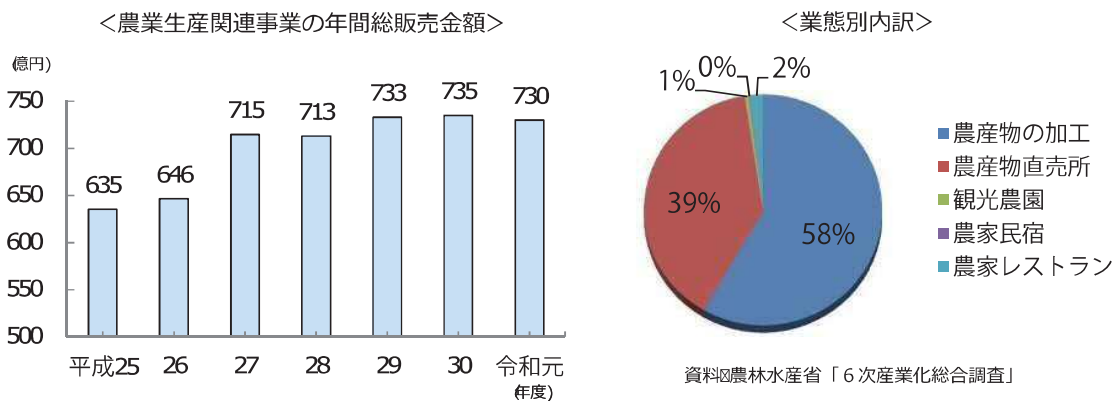
本県の農畜産物の輸出額



### (2) 6次産業化の市場規模

令和元年度の農業生産関連事業の年間総販売金額は730億円で、そのうち農産物の加工が約6割を占めています。6次産業化の取組により、多くの新商品が開発されています。

本県の6次産業の市場規模



### (3) 食品製造業の出荷額

本県の全製造業に占める食品製造業の出荷額の割合は、令和元年は42%と全国平均の約4倍であり、全国でも高い占有率となっています。事業所数や従業員数も全製造業の40%を超えており、農業振興への貢献とともに、地域に貴重な雇用機会を提供しています。

また、さつまいも等地域資源を活用した様々な加工食品が生産されています。

全製造業に占める食品製造業の割合（令和元年）

区分	食品製造業 (A)	全製造業 (B)	A/B (%)
事業所(箇所)	899	1,944	46.2
従業員(人)	28,854	69,563	41.5
本県出荷額等(億円)	8,405	19,940	42.2
全国出荷額等(億円)	362,208	3,225,334	11.2

資料：2020年工業統計調査

主要製造品の製造品出荷額等（令和元年）

順位	製造品名	出荷額等 (億円)	構成比 (%)
1	部分肉、冷凍肉	2,203	11.1
2	配合飼料	2,201	11.0
3	ブローラー加工品	1,021	5.1
4	焼酎	901	4.5
5	他に分類されない電子部品・デバイス・電子回路	835	4.2

資料：2020年工業統計調査

### (4) かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）

安心・安全な県産農林水産物を生産し、消費者からの信頼を確保するため、平成16年度に本県が創設した「かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）」の普及・拡大に取り組んでいます。

令和4年2月末現在の認証数は63品目、262団体・個人、307件となっています。

K-GAPの認証状況

区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
品目数	64	66	64	63	63
団体等数	264	271	270	272	262
件数	312	322	317	320	307
戸数	8,876	8,959	8,627	7,862	7,606

資料：県農政課かごしまの食ブランド推進室（令和4年2月末時点）

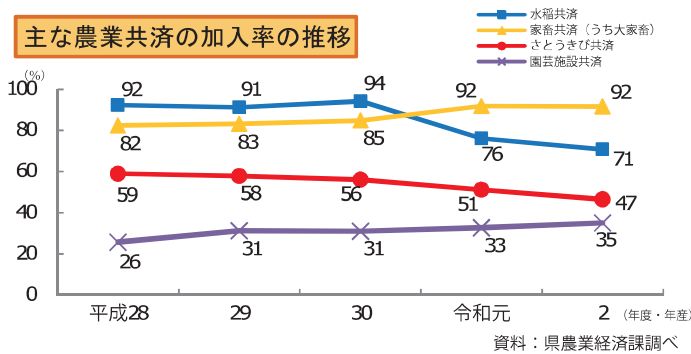
## 5 農業災害

### (1) 農業保険（農業共済，収入保険）

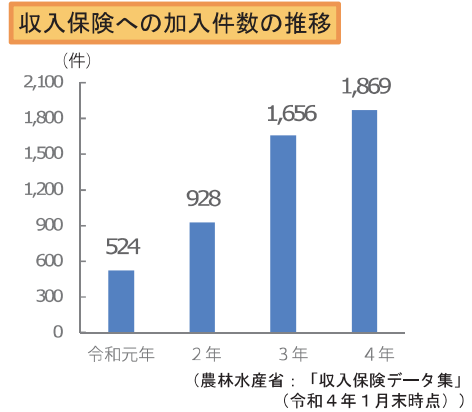
農業共済は，自然災害等によって受ける損失を補償しており，家畜共済（うち大家畜）や園芸施設共済は，加入率が上昇傾向にあります。

収入保険は，収量減少や価格低下などの様々なリスクによる収入減少を補償しており，農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体が対象です（肉用牛，肉豚，鶏卵を除く。）。収入保険への加入件数は，年々増加傾向にあります。

水稻及びさとうきびは，農業共済から収入保険へ移行する農業者も増加しています。



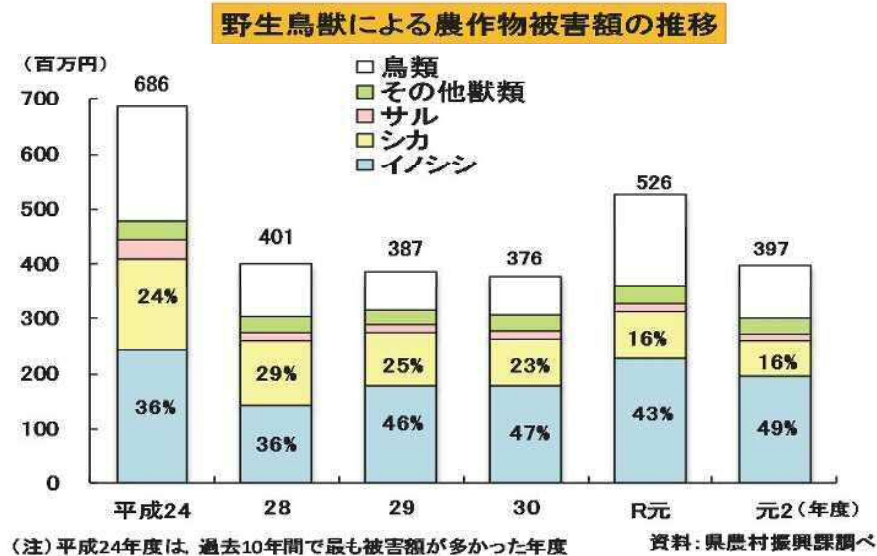
(注1) 水稻共済は，令和元年度から当然加入制が廃止され任意加入制へ移行。  
 (注2) 家畜共済（うち大家畜）の令和元年度加入率は，旧制度及び現制度のうち死亡廃用共済の引受頭数を基に算出。



### (2) 鳥獣被害額

令和2年度の野生鳥獣による農作物被害額は，ヒヨドリやイノシシによる被害が減少したことから，前年度に比べて25%減の約3億9千7百万円となりました。

被害額のうち，イノシシとシカによるものが全体の約6割を占めています。



## 6 作目別の生産振興対策

### (1) 米（多様なニーズに応える米づくり）

#### ●最近の情勢（作付面積、収穫量）

- ① 令和3年産水稻（主食用、加工用、米粉用等）の作付面積は18,600haで、収穫量は89,100トンとなっています。そのうち主食用米の作付面積は17,100haで、稲作農家の減少や高齢化等により、年々、減少傾向にあります。
- ② 令和3年産の水稻の作柄は、作況指数100の「平年並み」、10a当たり単収は479kgでした。
- ③ 品種別では、普通期水稻の「ヒノヒカリ」が最も多く、次いで「コシヒカリ」(早期)、「あきほなみ」(普通期)となっています。あきほなみ(県北産)は、(一財)日本穀物検定協会が実施する「米の食味ランキング」において、平成25年産から令和2年産にかけて最高評価の「特A」を獲得しています。

#### ●農業産出額

令和2年は208億円で、農業産出額全体の4.4%となっています。

#### ●主要産地

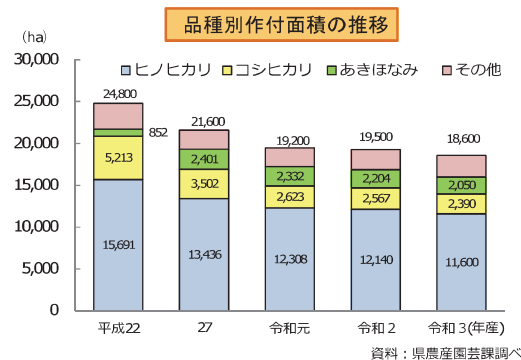
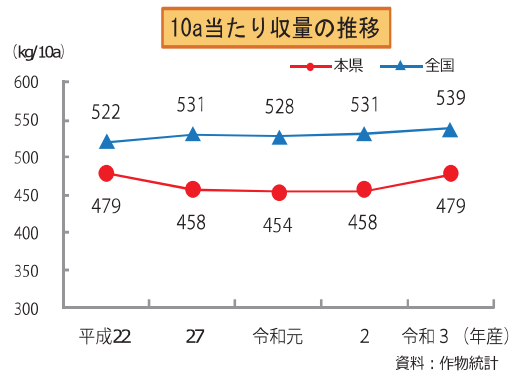
早期水稻は県本土南部と熊毛地域、普通期水稻は県本土中北部地域となっています。

#### ●今後の推進方向

県育成の収量・食味に優れた「あきほなみ」、「なつほのか」等の作付け拡大による売れる米づくりや、加工用米・飼料用米等の生産拡大、野菜等の高収益作物の導入・定着など水田のフル活用を推進し、稲作農家の経営安定と生産性の高い水田農業の確立に取り組みます。



順調に生育が進む「あきほなみ」



## (2) さつまいも (用途別需要に応じた計画的な生産)

### ●最近の情勢 (作付面積, 生産量)

- ① 令和3年産の作付面積は10,300haで、全国 (32,400ha) の32%を占め、全国第1位を誇っています。
- ② 令和3年産は、作付面積の減少、病害の影響等により、生産量は19万tと前年を下回り、また、10a当たりの収量は1,850kg (前年比94%)となりました。
- ③ さつまいもは、でん粉、焼酎、青果、食品加工用など幅広く利用されており、さつまいもの生産量のうち約4割がでん粉用、約5割が焼酎用に用いられています。

### ●農業産出額

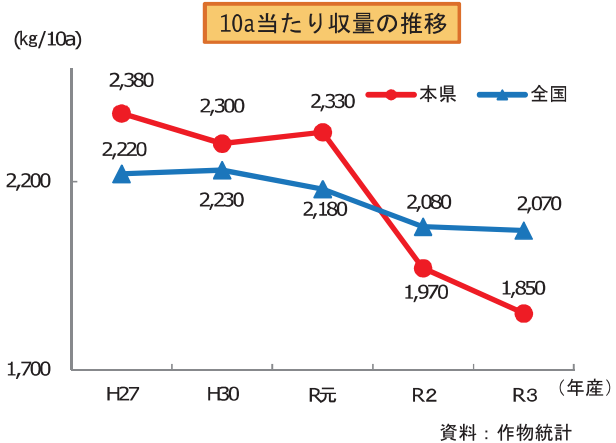
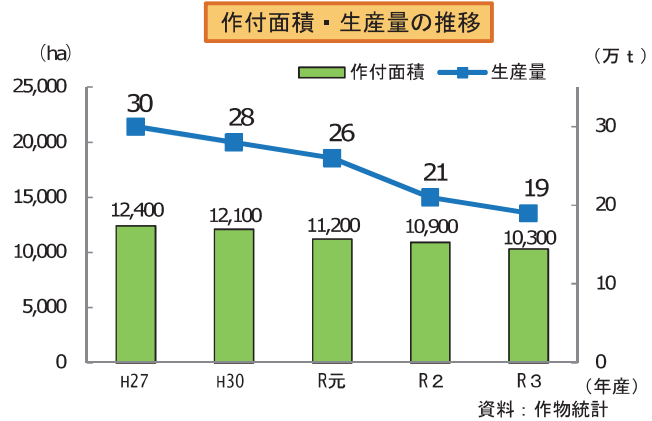
令和2年は140億円で、農業産出額全体の2.9%となっています。

### ●主要産地

大隅地域、南薩地域、熊毛地域などとなっています。

### ●今後の推進方向

用途別需要量に応じた計画的な生産を進めるとともに、「サツマイモ基腐病」対策の実施による生産安定や、省力機械の導入等による生産性向上を推進します。



普通畑の2割に作付けされるさつまいも

### 用途別の作付面積・生産量

(単位: ha, t, %)

	でん粉用		焼酎用		その他 (青果・食品加工用等)		計	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
R元	4,340	94,200	4,769	133,756	2,091	33,044	11,200	261,000
R2	3,980	72,400	4,759	98,389	2,161	43,911	10,900	214,700
(構成比)	(36)	(34)	(44)	(46)	(20)	(20)	(100)	(100)
R2/R元	92	77	100	74	103	133	97	82

資料：作物統計 (焼酎用・その他は県農産園芸課調べ)

### (3) 野菜（県全体に広がりのあるブランド産地の育成）

#### ●最近の情勢（作付面積、生産量）

- ① 令和2年産の作付面積（ばれいしょ、青果用さつまいもを含む）は18,143haで、近年横ばいで推移しています。
- ② 令和2年産の生産量（ばれいしょ、青果用さつまいもを含む）は約438千トンで、近年横ばい傾向で推移しています。
- ③ 近年、野菜の消費形態は外食・中食による摂取が増加傾向にあり、加工・業務用の需要が増加しています（需要割合約6割）。

#### ●農業産出額

令和2年（ばれいしょ、青果用さつまいもを含む）は約747億円で、農業産出額全体の15.7%となっています。

#### ●今後の推進方向

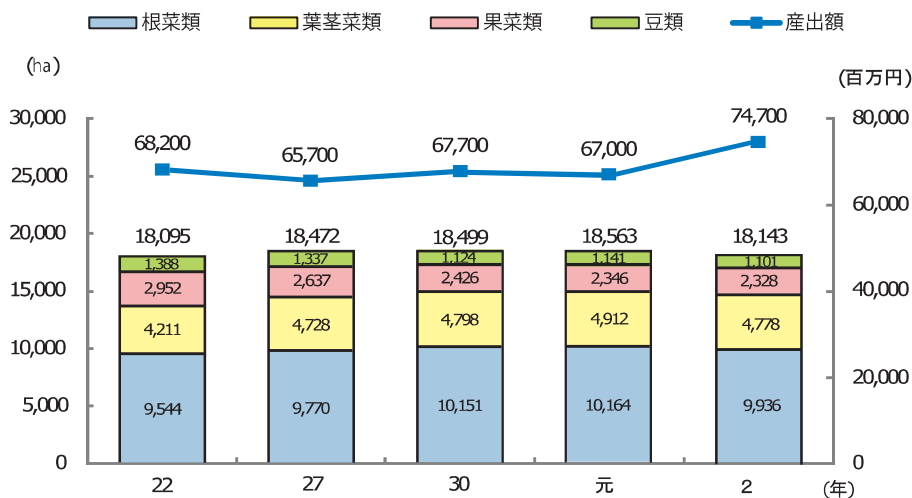
南北600kmにわたる地理的条件を生かし、安心・安全で環境との調和に配慮した野菜生産を基本に、重点品目を対象に施設化及び省力化の推進、集出荷施設等の整備を進め、高品質で安心・安全な野菜産地と加工・業務用需要に対応した野菜産地の育成に努めます。

品目別作付面積等（令和2年産）

品目名	作付面積 (ha)	生産量 (t)	全国に占める面積		主要産地
			割合 (%)	地位 (位)	
ばれいしょ	4,270	85,400	5.9	2	長島町, 和泊町, 伊仙町
だいこん	1,970	86,300	6.7	4	南九州市, 大崎町, 鹿屋市
キャベツ	1,920	72,200	5.6	5	指宿市, 南九州市, 志布志市
かぼちゃ	682	7,500	4.6	2	指宿市, 南さつま市, 伊佐市
にんじん	614	19,600	3.7	7	南九州市, 志布志市, 鹿屋市
ごぼう	526	6,360	7.2	4	鹿屋市, 曾於市, 大崎町
さといも	525	7,560	4.9	5	鹿屋市, 和泊町, 曾於市
ねぎ	493	7,130	2.2	15	南さつま市, 伊佐市, 鹿屋市
ブロッコリー	450	4,820	2.7	12	出水市, 中種子町, 鹿屋市
はくさい	431	24,800	2.6	9	曾於市, 霧島市, 志布志市
オクラ	426	5,209	-	-	指宿市, 垂水市, 南九州市
さやえんどう	420	4,450	15.0	1	垂水市, 鹿屋市, 鹿児島市
そらまめ	254	3,530	14.4	2	指宿市, 出水市, 枕崎市
レタス	232	4,630	1.1	16	指宿市, いちき串木野市, 南九州市
さやいんげん	219	2,370	4.4	5	垂水市, 錦江町, 南大隅町

資料:「野菜生産出荷統計調査」, 県農産園芸課調べ

作付面積・生産量の推移



資料:「野菜生産出荷統計調査」, 県農産園芸課調べ, 「生産農業所得統計」, 平成29年以降の産出額は県農産園芸課推計



#### (4) 果樹（地域の特性を生かした果樹ブランド産地の育成）

##### ●最近の情勢（栽培面積・生産量）

- ① 令和元年産の栽培面積は 3,526ha で、年々減少しています。
- ② 令和元年産の生産量は、41,002t となっています。

##### ●農業産出額

令和2年は98億円で、農業産出額全体の2.1%となっています。

##### ●今後の推進方向

適地適作を基本として、本県の優位性を発揮できるたんかん、大将季、紅甘夏、マンゴー等の優良品目・品種への転換や、施設化の推進、園内作業道の整備、省力化機械の導入、高性能選果施設の整備、安心・安全な果実づくりの推進など、地域特性を生かした果樹ブランド産地の育成を図るとともに、果樹産地の構造改革を推進します。

品目別栽培面積等（令和元年産）

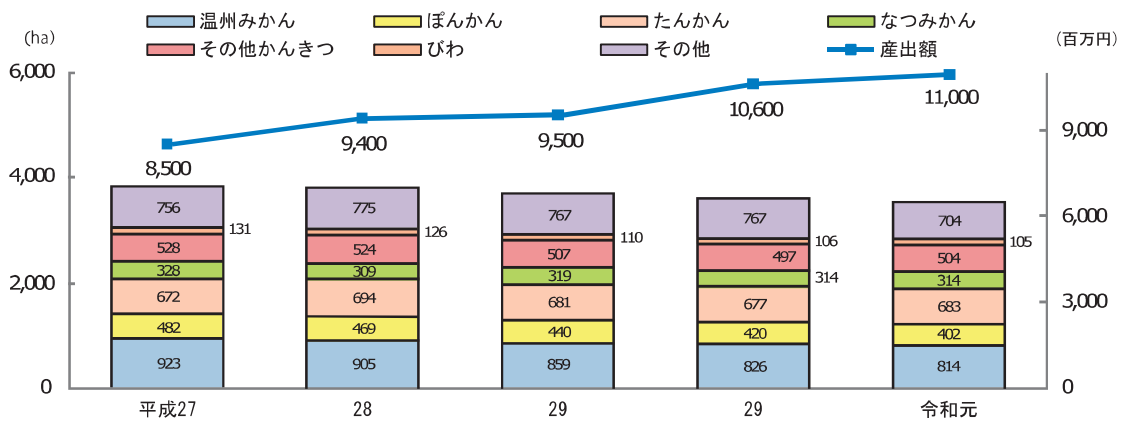
品目名	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	主要産地
温州みかん	814	14,463	出水市, いちき串木野市, 霧島市
ぼんかん	402	2,751	いちき串木野市, 肝付町, 屋久島町
たんかん	683	3,085	屋久島町, 奄美市, 徳之島町
なつみかん	314	10,707	出水市, 長島町, 阿久根市
不知火 (大将季含む)	146	2,423	出水市, 長島町, 阿久根市
きんかん	52	937	南さつま市, 薩摩川内市, さつま町
びわ	105	246	鹿児島市, 垂水市, 南大隅町
すもも	71	61	大和村, 指宿市, 奄美市
ぶどう	71	781	薩摩川内市, 霧島市, 出水市
マンゴー	63	403	大崎町, 奄美市, 指宿市
パッションフルーツ	35	306	奄美市, 瀬戸内町, 大崎町
県計	3,526	41,002	

資料：市町村報告



市場の期待が大きい「大将季」

栽培面積・産出額の推移



資料：「生産農業所得統計」, 市町村報告

## (5) 花き（消費者ニーズに対応した花きブランド産地の育成）

### ●最近の情勢（作付面積）

① 令和元年産の花き（切花類、球根類、鉢物類、花き苗類、芝、地被植物類）の作付面積は1,109haで、年々減少しています。

このうち切花類は、617haで全体の56%を占めています。

② 本県は、全国有数の花き生産県であり、ソリダゴ、グラジオラス、レザーリーフファンは全国1位、観葉植物は全国2位、キクは全国3位の作付面積を誇っています。

品目別作付面積等（令和元年産）

品目名	栽培面積 (ha)	出荷量 (千本)	主要産地
キク	203	81,261	枕崎市, 和泊町, 鹿屋市
ユリ	31	6,643	和泊町, 知名町
観葉植物	44	1,540	指宿市, 鹿児島市, 出水市
ソリダゴ	39	19,439	和泊町, 知名町, 与論町
グラジオラス	56	5,658	和泊町, 知名町, 指宿市
レザーリーフファン	13	5,211	南種子町, 中種子町

資料：市町村報告

### ●農業産出額

令和2年は113億円で、農業産出額全体の2.4%となっています。

### ●今後の推進方向

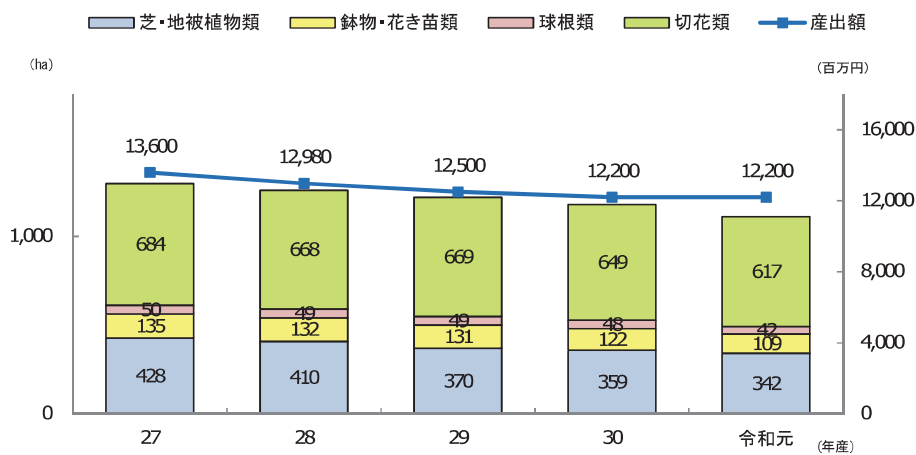
施設化・省力化による経営の安定化を図るとともに、キク類やテッポウユリ等に加え、需要の拡大が見込まれる収益性の高い品目・品種の導入を推進します。

また、「フラワーコンテスト」、「フラワーフェスタinかごしま」の開催や、「フラワーパークかごしま」における各種イベント等を通じて、県産花きの需要喚起と消費拡大に努めます。



鹿児島県フラワーコンテストの開催

作付面積・産出額の推移

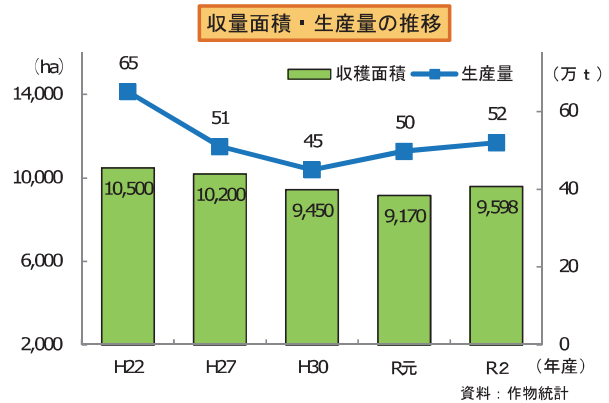


資料：花き生産出荷統計調査、花木等生産状況調査

## (6) さとうきび（「さとうきび増産計画」の達成に向けた取組の推進）

### ●最近の情勢（収穫面積、生産量）

- ① 令和2年産の収穫面積は9,598haで、本県南西諸島の約6割の農家が生産している基幹作物となっています。
- ② 令和2年産は、台風等の影響も少なかったことから、県全体の生産量は約52万t（前年比105%）と前年を上回り、また、10a当たりの収量も、5,440kg（前年比100%）となりました。
- ③ 鹿児島・沖縄両県の生産量は約120万tで、約4割が本県で生産されています。



### ●農業産出額

令和2年は116億円で、農業産出額全体の2.4%となっています。

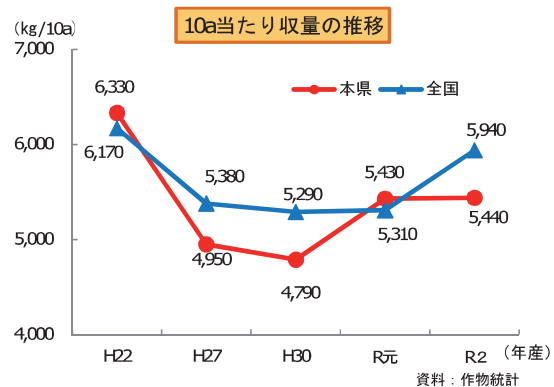
### ●主要産地

種子島、奄美地域となっています。

製糖（分みつ糖）工場は、種子島に1工場（1社）、奄美地域の5島に6工場（5社）あり、さとうきび生産量の99%が分みつ糖用に利用されています。

### ●今後の推進方向

さとうきびの収穫面積の確保や単収向上などを図るため、農作業受託組織等の育成や、堆肥投入等による土づくり、優良品種の育成・普及などに取り組みます。



小型ハーベスタによる収穫



けん引式中耕機（スクープ）による作業の効率化（中耕ロータリ作業時間と比較し、1/4に短縮）

## (7) 茶（強みやポテンシャルを生かした「儲かる茶業経営」の実現）

### ●最近の情勢（栽培面積、生産量）

- ① 令和2年産の栽培面積は8,360haで、全国的に減少する中、本県においてはほぼ横ばいで推移しています。
- ② 令和2年産の荒茶生産量は23,900tとなり、全国シェアの34%を占める全国第2位の茶産地となっています。
- ③ 全国茶品評会において、18年連続の「産地賞」や、「農林水産大臣賞」を受賞するなど、品質もトップレベルにあります。
- ④ 抹茶の原料となるてん茶やドリンク原料茶など、需要に対応した茶づくりが進んでいます。また、多様な品種が栽培されています。
- ⑤ 令和2年度の有機栽培茶面積は、713ha（うち有機JAS認証616ha）であり、有機JAS認証面積は、全国一を誇っています。

### ●農業産出額

令和2年は198億円で、農業産出額全体の5.2%となっています(静岡県：203億円)。

### ●主要産地

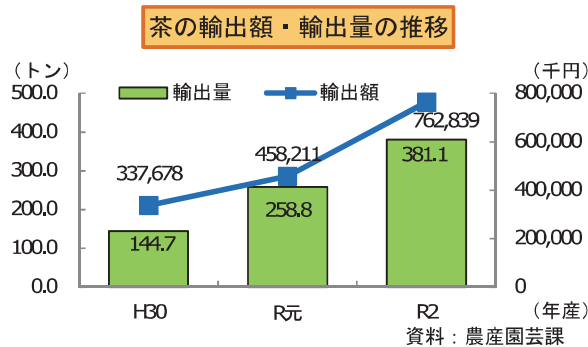
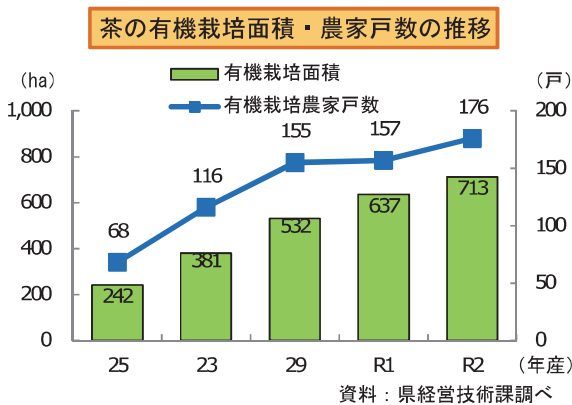
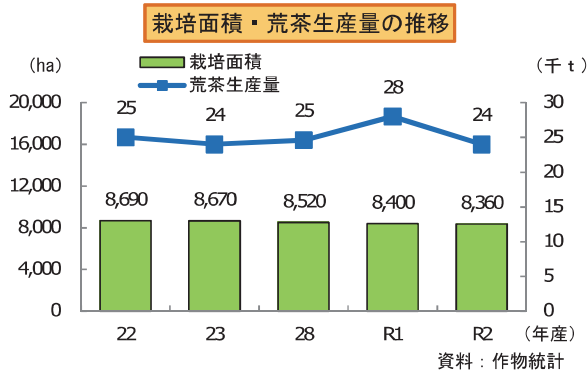
茶は、県内各地で栽培されており、温暖早場地帯、畑作平坦地帯、山麓傾斜地帯など、立地条件を生かした特色ある茶づくりが進んでいます。

### ●輸出状況

本県の茶の輸出額は、米国、EU、台湾を中心に、令和2年度で約7.6億円（前年比166%）、輸出量は381.1トン（前年比147%）となっており、着実に伸びています。

### ●今後の推進方向

大型管理機械の導入による高い生産性、海外輸出に向けた有機栽培茶の団地化や有機JAS認証取得の推進など、本県茶業が有する強みやポテンシャルを生かし、生産体制の強化、ニーズに対応した茶づくり等による付加価値向上や更なる消費拡大など、「儲かる茶業経営」の実現に向けた取組を進めます。



大規模で効率的な生産が進む本県茶業

## (8) 葉たばこ（低コストで高品質な葉たばこづくり）

### ●最近の情勢（耕作面積、生産量）

- ① 令和3年産の耕作面積は360haで、前年よりやや減少しました。また、1戸当たりの耕作面積は、1.99haで10年前（1.82ha）の1.1倍に拡大しています。
- ② 令和3年産は、生育期の天候が良好であったことから、生産量は927t、10a当たり収量は257kg（前年比124%）と前年を上回ったが、早期梅雨入りによる収穫期の日照不足等の影響により、Aタイプ率は51%（前年比76%）となりました。



### ●農業産出額

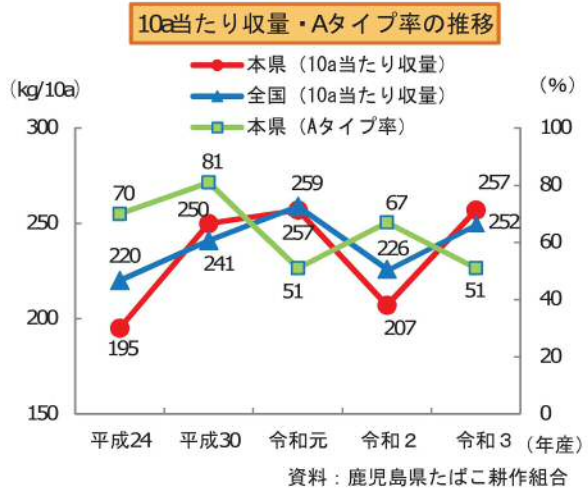
令和2年は18億円となっています。

### ●主要産地

南薩地域、北薩地域、大隅地域、種子島、沖永良部島などです。

### ●今後の推進方向

担い手の育成や、高単収・高品質な葉たばこ生産の推進など、関係機関・団体と一体となって取り組みます。



高単収・高品質な葉たばこ生産

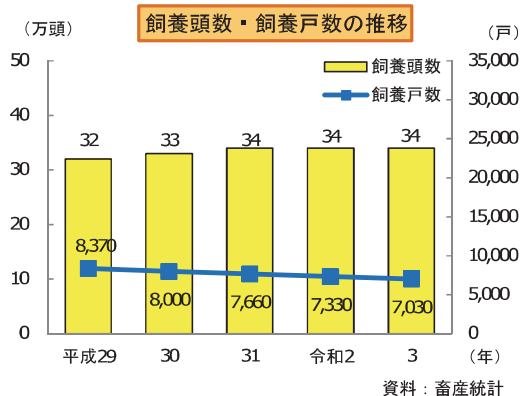


高架型作業機（AP-1）を用いた収穫作業

### (9) 肉用牛（生産基盤の維持拡大による安定供給）

#### ●最近の情勢（飼養頭数・戸数，出荷頭数）

- ① 令和3年の飼養頭数は、351,100頭で、全国の13.5%を占めています。また、肉用牛の中でも肉質の優れた黒毛和種の飼養頭数は、336,600頭で、全国第1位となっています。
- ② 令和3年の飼養戸数は、7,030戸（対前年比95.9%）となっています。
- ③ 令和3年の子牛の出荷頭数は、88,465頭となっています。



#### ●農業産出額

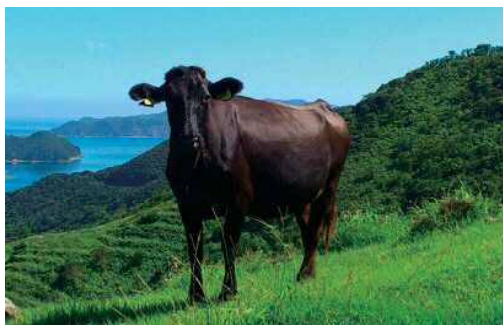
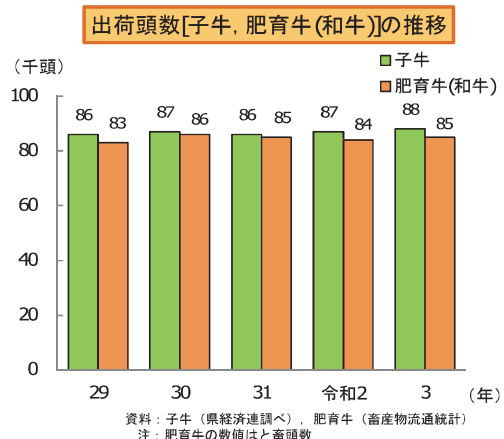
令和2年は1,151億円（対前年比90.1%）で、農業産出額全体の26.1%となっています。

#### ●主要産地

肉用牛は、県内各地で飼育され、主要産地は、大隅地域、大島地域などとなっています。

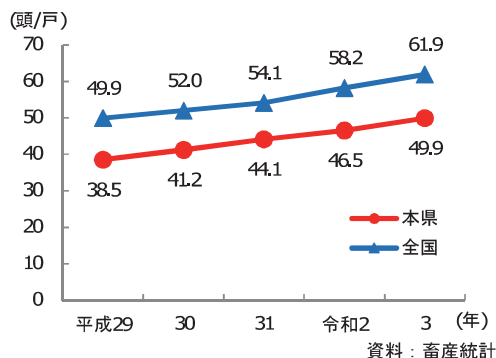
#### ●今後の推進方向

- ① 肉用牛の生産基盤の維持・拡大を図るため、関係機関・団体からなる「肉用牛振興協議会」を通して、統一した指導体制のもと、担い手となる経営体の育成や、畜舎等の整備を支援することにより、段階的な規模拡大を推進します。
- ② 専業農家の更なる規模拡大と小規模・高齢農家の経営継続を図るため、ヘルパーやコントラクター等の支援組織の利用やICT技術等を活用した飼養管理作業等の分業化・省力化を推進します。
- ③ 遺伝子解析等の手法を活用した優良種雄牛の造成等や、これらの遺伝率的な飼養管理技術の開発を推進します。
- ④ 第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会を通じた「鹿児島黒牛」のブランド力の強化を図ります。



雄大な自然に育まれた「鹿児島黒牛」

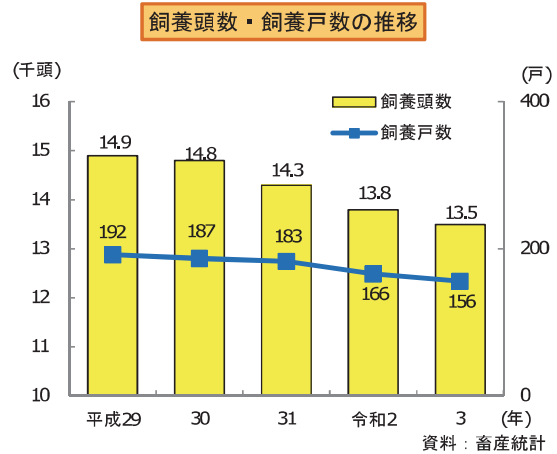
#### 1戸当たり飼養頭数の推移



## (10) 乳用牛（高品質な生乳の安定供給）

### ●最近の情勢（飼養頭数・戸数，生乳生産量）

- ① 令和3年の飼養頭数は13,500頭（対前年比97.8%）で，減少傾向で推移しています。
- ② 令和3年の飼養戸数は156戸で，減少傾向で推移しています。
- ③ 令和3年の1戸当たりの飼養頭数は86.5頭で，多頭化が進んでいます。
- ④ 令和3年の生乳生産量は77,980 tとなっています。また，令和3年の用途別処理量は，飲用向け69.9%，乳製品向け29.6%となっています。



### ●農業産出額

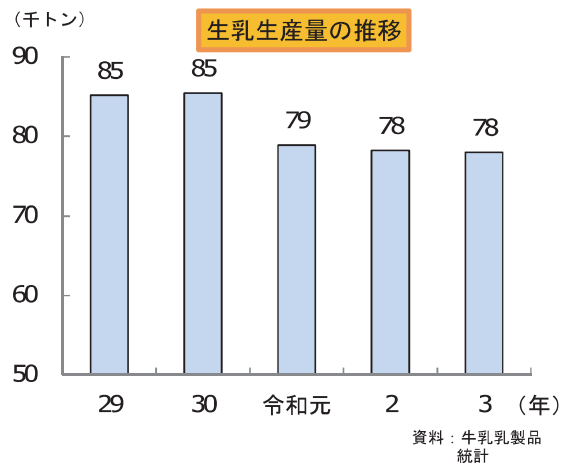
令和2年は106億円（対前年比99.1%）で，農業産出額全体の2.1%となっています。

### ●主要産地

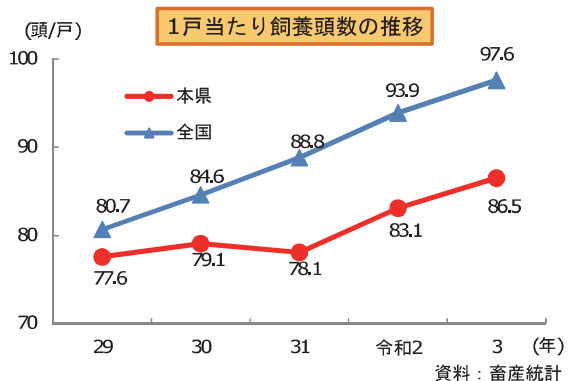
大隅地域，熊毛地域，南薩地域などとなっています。

### ●今後の推進方向

- ① 需要に見合った計画生産を基本として，酪農経営の安定向上を図ります。また，乳用牛群検定による個体管理，性判別精液や受精卵移植技術等の活用による優良後継牛の確保，搾乳牛の増頭，夏季需要期の生乳生産の促進及び供用年数の延長による生涯生乳生産量の向上を推進します。
- ② 酪農ヘルパーやコントラクター等の支援組織の利用や，育成預託の推進，ICT技術の活用等による飼養管理作業等の分業化・省力化を推進します。



放牧で育成された乳用牛



## (11) 豚（高品質な豚肉の安定供給）

### ●最近の情勢（飼養頭数・戸数，出荷頭数）

- ① 令和3年の飼養頭数は123万頭（対前年比95.7%）で、全国第1位となっています。
- ② 令和3年の飼養戸数は477戸で、年々減少しています。
- ③ 令和2年の県内の肉豚出荷頭数（と畜頭数）は、277万頭（対前年比103.1%）で全国第1位となっており、うち黒豚は30万頭となっています。

### ●農業産出額

令和2年は856億円（対前年101.1%）で、農業産出額全体の17.3%となっています。

### ●主要産地

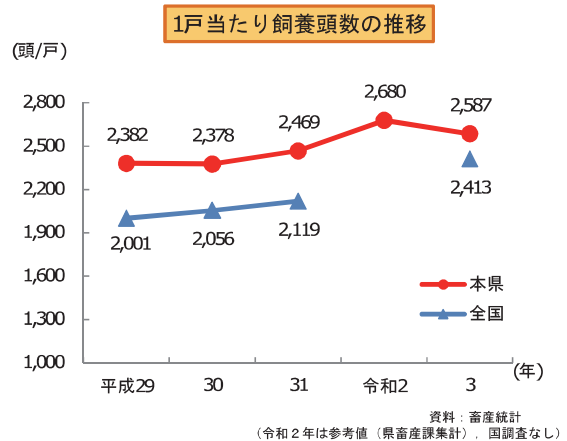
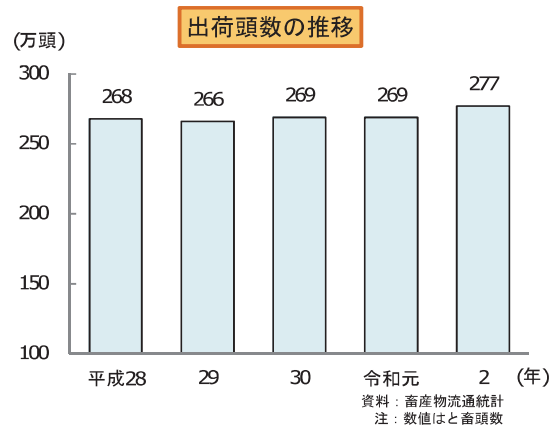
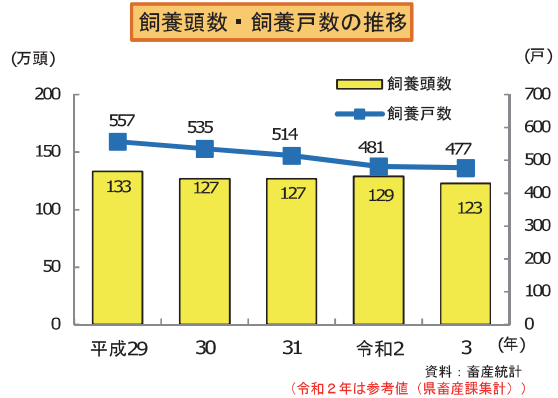
養豚団地は、各地に形成されていますが、主要産地は、大隅地域などとなっています。

### ●今後の推進方向

- ① 競争力のある経営体の育成と高品質な豚肉の低コスト生産を推進するため、かごしま黒豚の種豚の改良や飼養管理施設等の整備を進めるとともに、飼養衛生管理技術の向上に努めます。
- ② 「かごしま黒豚」の一層の銘柄化を図るため、系統豚「ニューサツマ」、「サツマ2001」、「クロサツマ2015」の利用を推進するとともに、第5系統豚の造成に向けた取組を進めます。



第4系統豚「クロサツマ2015」  
（平成27年11月認定）





## (12) 採卵鶏（安全で新鮮な鶏卵の安定供給）

### ●最近の情勢（飼養羽数・戸数, 鶏卵生産数量）

- ① 令和3年の飼養羽数は12,008千羽（対前年比104.4%）となっています。
- ② 令和2年の飼養戸数は1165戸となっています。
- ③ 令和2年の鶏卵生産数量は190,021t（対前年比101.2%）で、全国第2位となっています。

### ●農業産出額

令和2年は273億円（対前年比103.8%）で、農業産出額全体の5.4%となっています。

### ●主要産地

主要産地は、大隅地域、北薩地域、南薩地域などとなっています。

### ●今後の推進方向

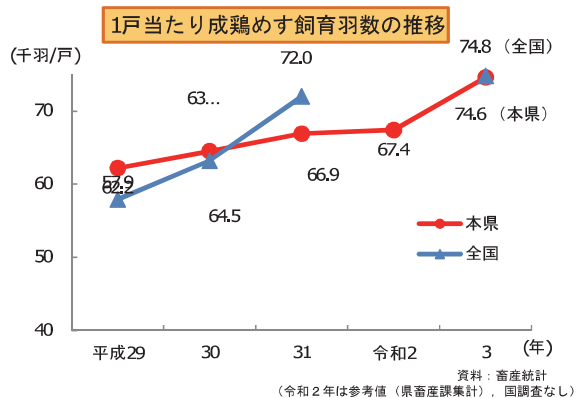
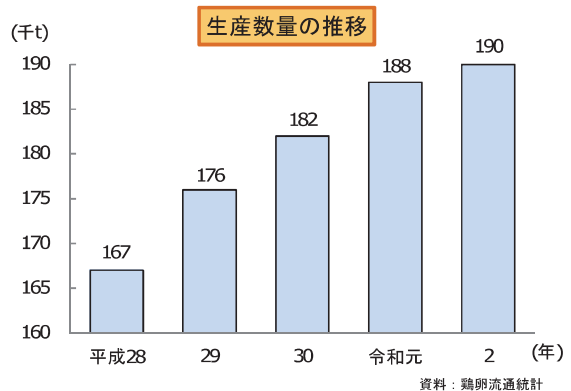
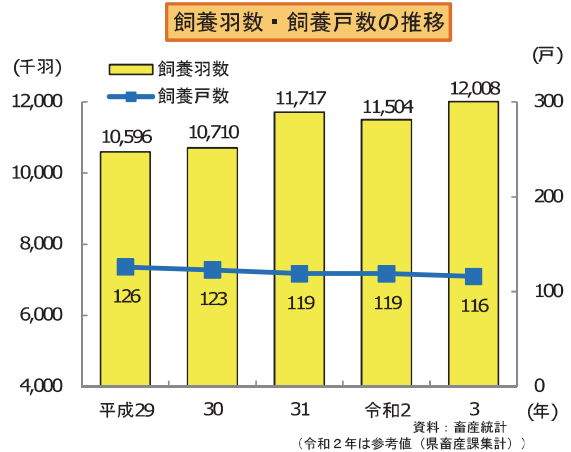
安全・安心、高品質な鶏卵の低コスト生産や飼養衛生管理技術の向上、生産性の高い鶏舎や鶏卵処理施設等の整備を推進します。



安全で高品質な鶏卵の生産



鶏卵処理施設



### (13) 肉用鶏（消費者ニーズに対応した鶏肉の安定供給）

#### ●最近の情勢（飼養羽数・戸数，出荷羽数）

- ① 令和3年の飼養羽数は27,085千羽（対前年比108.9%）となっています。
- ② 令和3年の飼養戸数は381戸となっています。
- ③ 令和2年の出荷羽数は141,076千羽（対前年比100.9%）で、全国第1位となっています。

#### ●農業産出額

令和2年は699億円（対前年比100.6%）で、農業産出額全体の14.2%となっています。

#### ●主要産地

主要産地は、大隅地域などとなっています。

#### ●今後の推進方向

安全・安心、高品質な鶏肉生産を推進するとともに、県が開発した「かごしま地鶏」（「さつま若しゃも」、「さつま地鶏」、「黒さつま鶏」）のブランド力向上を図るため、飼料用米給与体系を取り入れた飼養マニュアルの活用による肉質向上や県産地鶏の認知度向上に向けた取組を推進します。



さつま地鶏 商標

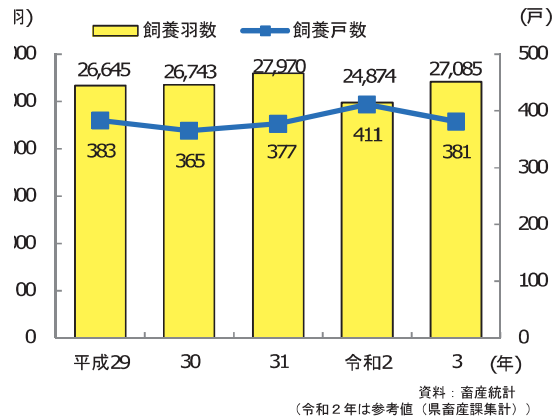


黒さつま鶏 商標

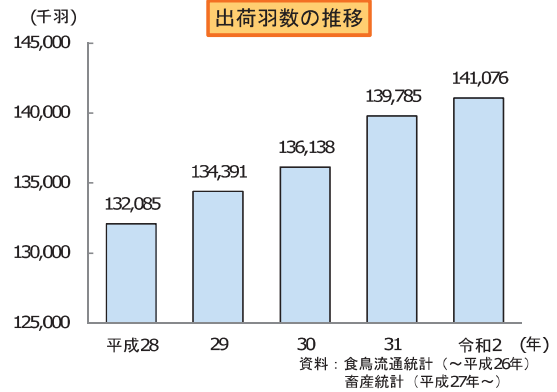


黒さつま鶏

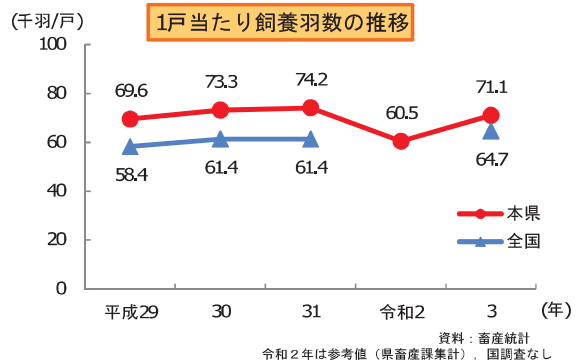
飼養羽数・飼養戸数の推移



出荷羽数の推移



1戸当たり飼養羽数の推移



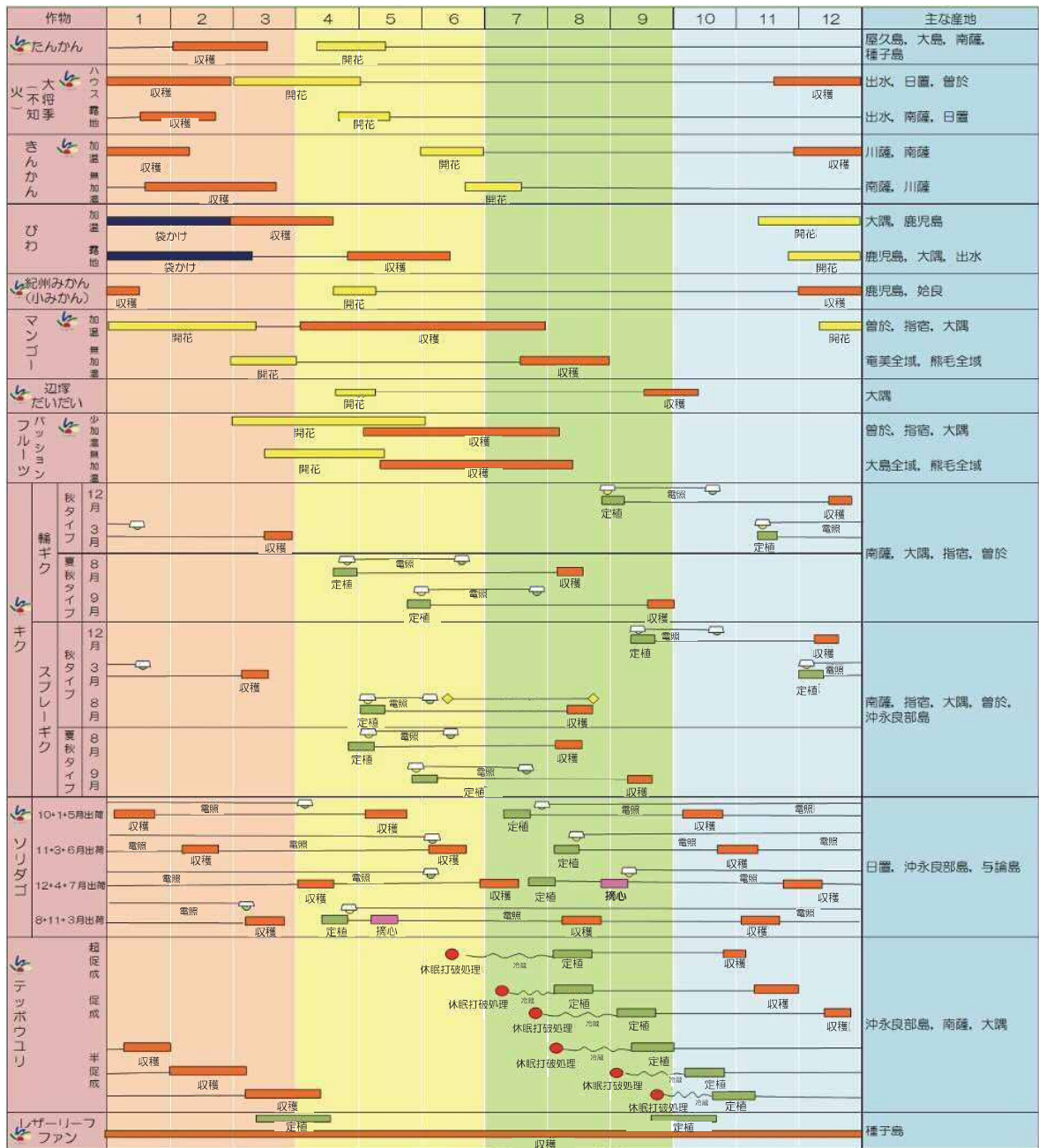
# IV 作物カレンダー

作物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	主な産地
水稲			播種	田植		播種	田植	収穫					熊本、薩摩半島中南部、大隅半島南部 県本土
大豆							播種					収穫	県本土
さつまいも (青果用)	超早期	植付					収穫						南薩
	早期		植付				収穫						南薩
	普通			植付				収穫					熊本、大隅、南薩
	遅期				植付				収穫				
さとうきび	春植	植付										収穫	種子島、奄美地域
	夏植						植付					収穫	
茶				一番茶	二番茶	三番茶	四番茶					秋冬番茶	県本土、熊本、徳之島
葉たばこ	播種	植替	植付										南薩、北薩、大隅、種子島、沖永良部島
だいこん	春まき	播種										収穫	肝属、始良、曾於
	夏まき								播種			収穫	始良
	秋まき	収穫								播種		収穫	曾於、南薩、肝属
	冬まき	播種									播種	収穫	曾於、肝属、南薩、始良
さといも	早期	植付						収穫					曾於
	普通			植付								収穫	沖永良部島、与論島 肝属、曾於、始良、川薩
ばれいしょ	早期	収穫										植付	出水、沖永良部島、徳之島、種子島、肝属
	春作	植付										収穫	出水
	秋作	収穫							植付			収穫	出水
根深ねぎ	春まき	収穫		播種								収穫	肝属、南薩、伊佐
	夏まき				植付							播種	南薩、伊佐、始良
	秋まき		収穫						植付			播種	南薩、始良、日置
	冬まき	播種		植付								収穫	伊佐、始良
キャベツ	早期	収穫							播種			植付	指宿、南薩、曾於
	普通									播種		植付	指宿、肝属、曾於
	遅期										播種	植付	肝属、曾於

作物カレンダー

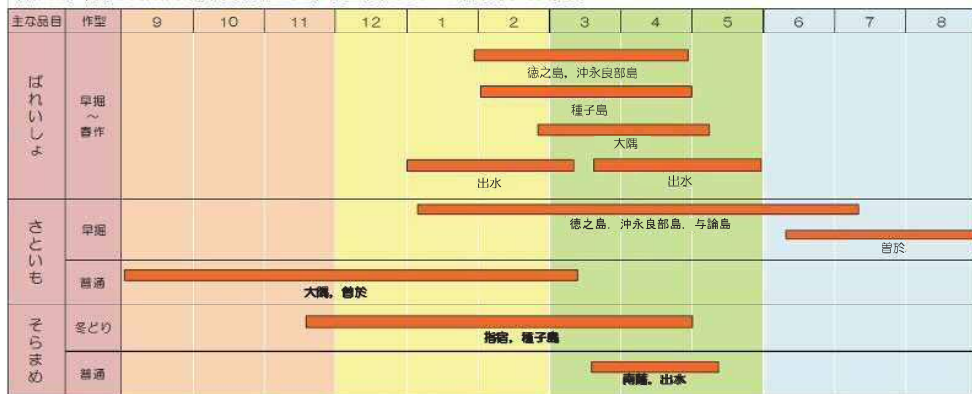
作物カレンダー

作物	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	主な産地
はくさい	普通 播種	普通 収穫	普通 播種	普通 収穫				播種	普通 収穫	普通 播種	普通 収穫	普通 播種	曾於, 肝属 始良
ブロッコリー	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	肝属, 始良 種子島, 出水, 肝属, 喜界島
にんじん	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	肝属 南薩, 指宿, 肝属, 曾於
ごぼう	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	曾於, 肝属 肝属
	新 播種	新 播種	新 播種	新 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	肝属, 曾於, 川薩, 伊佐, 始良 曾於 肝属, 曾於 肝属, 曾於
かぼちゃ	半促成 播種	半促成 播種	半促成 播種	半促成 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	南薩, 伊佐, 曾於, 肝属 指宿, 鹿児島, 伊佐, 大島, 出水
	抑制 播種	抑制 播種	抑制 播種	抑制 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	指宿, 南薩, 肝属, 曾於
きゅうり	促成 播種	促成 播種	促成 播種	促成 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	肝属, 曾於 肝属
	半促成 播種	半促成 播種	半促成 播種	半促成 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	始良 曾於
さやえんどう	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	指宿, 出水, 南薩 指宿, 肝属, 種子島 肝属
	促成 播種	促成 播種	促成 播種	促成 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	肝属, 冲永良部島 肝属
	抑制 播種	抑制 播種	抑制 播種	抑制 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	肝属, 与論島 肝属
そらまめ	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	指宿, 南薩, 肝属 出水, 南薩, 肝属
ピーマン	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	南薩, 肝属 曾於
オクラ	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	南薩, 曾於, 川薩 指宿, 南薩 鹿児島, 出水 指宿, 肝属, 出水
いちご	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	曾於, 日置, 川薩, 出水, 始良, 肝属, 南薩
みかん	普通 開花	普通 開花	普通 開花	普通 開花				開花	普通 開花	普通 開花	普通 開花	普通 開花	曾於, 出水, 日置 出水, 日置, 川薩
紅甘藷	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	出水
ほんかん	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種				播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	普通 播種	屋久島, 種子島, 大隅, 南薩



リレー出荷体制の確立

本県では、南北600kmの地理的条件を生かし、特産野菜のリレー出荷を行っています。

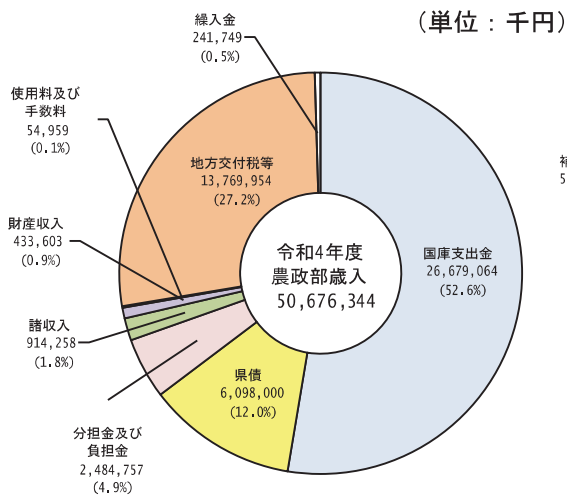


# V 農政の推進体制

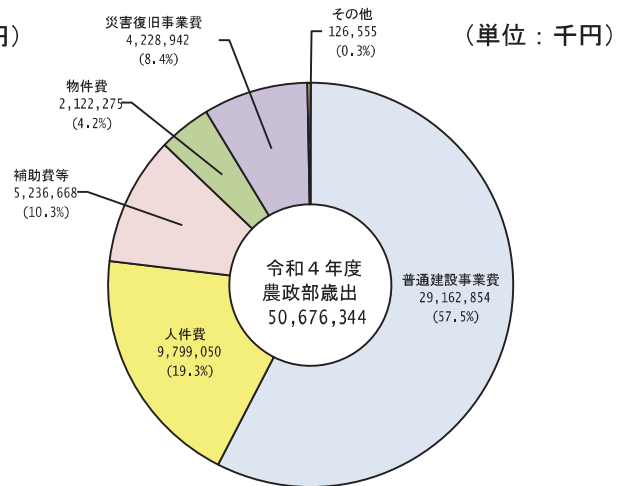
## 1 農政部予算総括

区 分		令和4年度 当初（千円）	令和3年度 当初（千円）	伸び率（%） （R4/R3）
一 般 会 計	農 業 費	14,627,552	13,441,336	108.8
	畜 産 業 費	7,526,127	6,921,705	108.7
	農 地 費	24,146,908	25,083,036	96.3
	小 計	46,300,587	45,446,077	101.9
	災 害 復 旧 費	4,375,757	3,675,245	119.1
	計	50,676,344	49,121,322	103.2
	うち 公共事業	24,358,603	24,358,603	100.0
うち 県単公共事業	371,479	206,479	179.9	
特別 会計	就農支援資金貸付事業	60,131	78,386	76.7
合 計		50,736,475	49,199,708	103.1

令和4年度農政部歳入  
(一般会計)

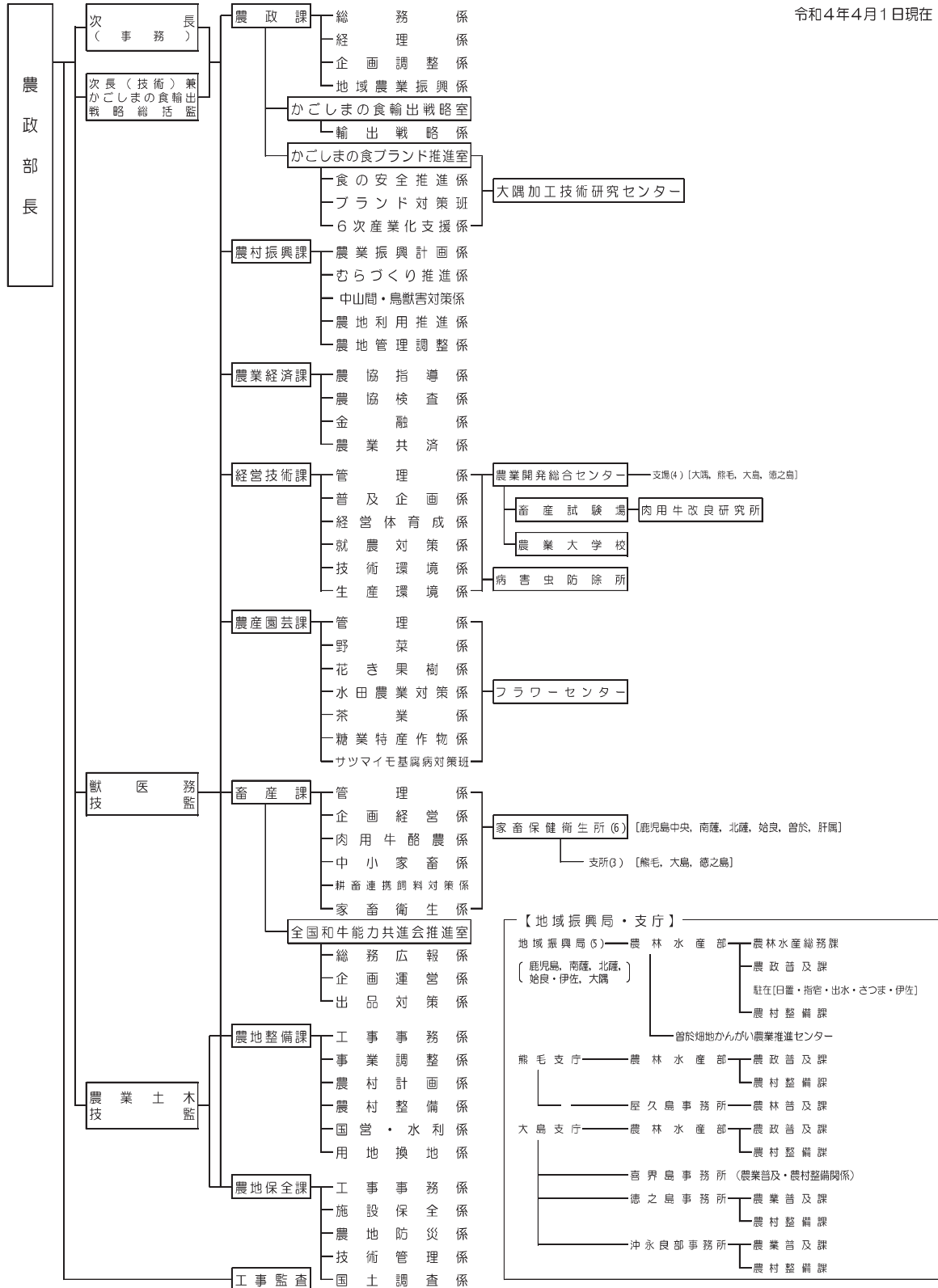


令和4年度農政部歳出  
(一般会計)



## 2 農政部機構図

令和4年4月1日現在



農政の推進体制

技術を生み出し、  
人を育てる

# 大隅加工技術研究センター

(平成27年4月開設)

県産農産物の付加価値向上に向けて、品質の維持・向上を図る保蔵・流通技術や素材の特長を生かした加工技術の開発に取り組んでいるほか、施設の開放により食品加工事業者等が自ら行う加工品の開発支援等を行っています。

## アクセス



- 鹿児島市内から桜島フェリーまたは鴨池フェリー経由、車で約100分
- 鹿児島市内から九州縦貫自動車道・東九州自動車道・大隅縦貫道細山田IC経由、車で約90分
- 鹿児島空港から九州縦貫自動車道・東九州自動車道・大隅縦貫道細山田IC経由、車で約75分
- 志布志港から大崎町経由、車で約55分

## お問い合わせ

〒893-1601  
鹿屋市串良町細山田4938番地  
TEL 0994-31-0311  
FAX 0994-31-0319  
URL <http://www.oosumi-kakou.com/>  
E-mail [kagiken@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kagiken@pref.kagoshima.lg.jp)



ゆっくり楽しむ花の国  
花・風・光の自然浴

# フラワーパークかごしま

東には、錦江湾のきらきら光る海。西には、美しい姿でそびえる開聞岳。太陽の光とさわやかな潮風の香につつまれた日本最大級の花の楽園です。

(平成8年5月オープン)

県民が花と緑に親しむ憩いの場として、また、花の生産と観光の振興に寄与する施設として四季折々の花が楽しめます。

## 場所



## お問い合わせ

〒891-0513  
指宿市山川岡児ヶ水1611番地  
TEL 0993-35-3333  
FAX 0994-35-3555  
URL <http://www.fp-k.org/>



## 令和4年3月発行

■編集発行 鹿児島県農政部農政課  
鹿児島市鴨池新町10番1号  
電話 099-286-3091 FAX 099-286-5587  
URL <http://www.pref.kagoshima.jp/>